KGUARD SECURITY

DVR

ユーザーマニュアル

DVR with Cloud Technology

Easy Link PRO Series (EL422/EL822/EL1622)

デフォルトのユーザー名: admin
デフォルトのパスワード: 123456

日本語

目次

安全性情報 3

1章：はじめに 4

1.1 機能 4
1.2 部品と機能 4
1.3 基本設定 6
1.4 カメラへの接続 7
1.5 マウスコントロール 8
1.6 リモートコントロール 9

2章：DVRの使用 10

2.1 開始ウィザード 10
2.2 オンスクリーンディスプレイの使用 13
2.3 メニューの使用 14
2.4 パスワードの管理 16
2.5 録画モード 18
2.6 再生およびバックアップ 20

3章：ネットワークおよびリモートアクセス 23

3.1 DVRのネットワーク設定 23
3.2 モバイルアプリ 27
3.3 PCおよびMacへ接続 29
3.4 Eメール通知 31
3.5 クラウドストレージ 32
3.6 KGUARD DDNS 34

付録 36

付録A: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール 36
付録B: HDD管理 37

仕様 38

トラブルシューティングおよびFAQ 40

トラブルシューティング 40
よくある質問 41

安全性情報

警告
これはなんらかの特別な注意を要する危険の可能性、リスク、または状態を示すマークです。ユーザーは、重要な保守運用または修理の指示を参照する必要があります。

注意
正三角形の中に矢印付きの稲妻があるマークは、ユーザーへの警報を意図するものです。製品のエンクロージャー近くに、人に対するリスクになり得る危険な「電圧の」存在があります。

安全上の注意

- **充電部に触らないこと。**
  感電を防ぐことができます。次に挙げる推奨法に従ってください。設置障害、不適切な接地、不正な電気機器の保守運用は、常に損傷の元となります。
- **風雨が強い時に屋外で機器を設置しないこと。**
- **雨の時は屋外で機器の設置または取り外しをしないこと。**
- **雷雨の時はいかなる機器も設置または操作しないこと。**
- **常にすべての電気機器と作業足場を接地すること。**
  偶発的な感電を避けてください。電源、制御キャビネット、および作業足場を認可された電気的アースに接続してください。
- **必ず正しいケーブルサイズを使用すること。**
  過負荷の持続により、ケーブル障害が発生し、結果として感電または火災の原因となる可能性があります。作業ケーブルは、工場と同じ定格である必要があります。
- **ケーブルとコネクターは常に良好な状態に維持すること。**
  不適切または破損した電気接続によりショートが発生し、感電の危険性が増加します。磨耗、損傷、または裸のケーブルを使用しないでください。
- **必ず開路電圧を避けること。**
  電圧の追加により、感電の危険性の重大度が増加します。
- **機器を調整する間は必ず絶縁手袋を装着すること。**
  電撃保護を保証するため、いかなる機器の調整を行う場合も電源をOFFにし、絶縁手袋を装着する必要があります。
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長袖のシャツなどの防護服を着ること。**
- **必ず高くぴったり合う靴を履くこと。**
- **必ず潤滑油または油が付いていない清浄な衣服を着ること。**
- **周囲の作業者が円周放射にさらされないよう保護すること。**
- **機器を設置または取り外しする間は必ず長ズボンやジーンズを着ること。**
- **作業前に、必ず安全ヘルメットまたは安全帽および安全靴を装着すること。**
- **機器は常に乾燥した場所に保管すること。**
- **高所作業時は必ず安全ハーネスまたはベルトを装着すること。**
- **常に乾いた衣服を着て、湿気と水を避けること。**
- **夜間作業時は必ず公衆安全ベストを装着すること。**
- **すべての電気接続は、必ずしっかりと、清浄で、乾いた状態にすること。**
- **静電荷を除去するため、必ず十分に絶縁すること。**
- **常に乾いた手袋、ゴム底の靴、または乾いた板もしくは台に立つこと。**
- **必ず広く認められた安全基準に従うこと。**
- **必ず適切な目、耳、および体の保護具を装着すること。**
- **暗所、換気の弱い場所、または高所で作業する間は、必ず現場に2番目の人がいるようにすること。**
- **必ずアーク閃光、機械的損傷、またはその他の災難に対して十分に保護すること。**
- **機器を設置する前に、線の極性が正しいことを確認すること。**
- **機器は必ず注意して取り扱うこと。**
- **機器の換気を遮らないこと。**
- **機器の周辺に磁気パーツを置かないこと。**
- **機器の上に物を置かないこと。**

日本語

1章:はじめに

1.1 機能

本機は次の機能をサポートしています。

- H.264圧縮技術
- 高度で使いやすいユーザーインターフェイスとUSBマウスコントロール
- 各種時間枠で録画されたビデオのIEブラウザによるマルチチャンネル同時再生サポート
- リモートビデオ&音声ライブ映像表示、再生、セットアップ、バックアップ、およびファイリングの IE/Safariブラウザ経由によるトータルオンライン監視
- PTZコントロール用内蔵RS-485ポート
- モーション検出イベントの前に追加画像をキャプチャーできるようにするプリレコーディング機能
- アラーム契機イベントの即時メール通知
- NTPとのクロック同期サポート
- プライベートエリア保護用プライバシーマスク (1チャンネル当たり最大4エリア)
- iPhone、iPad、およびAndroid携帯デバイス経由でリモート監視および制御を行うための無料でダウンロード可能なアプリKViewQR
- 簡単にバックアップできるUSB 2.0インターフェイス
- KGUARD DDNSサービス (kguard.org) を付属
- D1 / 960Hの録画再生をサポート
- ワイド画面LCDで表示可能
- 1080p高精細度1920x1080 最大16台のカメラによるリアルタイムライブ映像ディスプレイ (16チャンネルDVR用)
- ユーザー権限および認証管理
- 専用でクラウドサービスに接続し、個人用ストレージスペースを所有
- スマートフォン / タブレットでリモートライブ表示するためのDVRの簡単なネットワーク設定をサポート

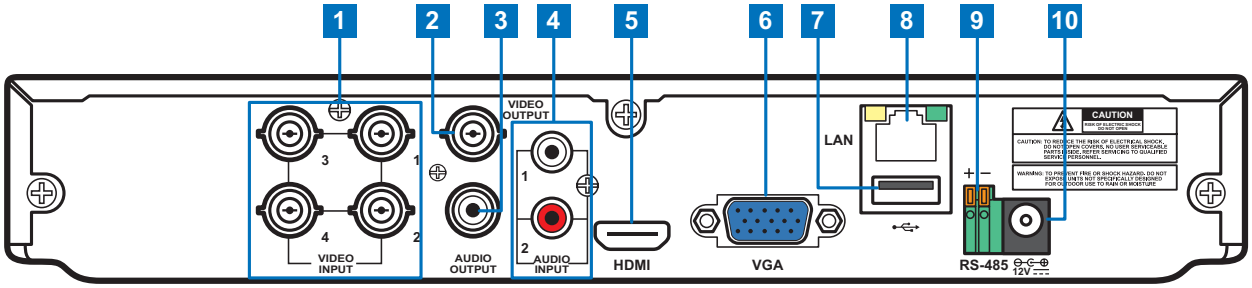
1.2 部品と機能

1.2.1 前面パネル

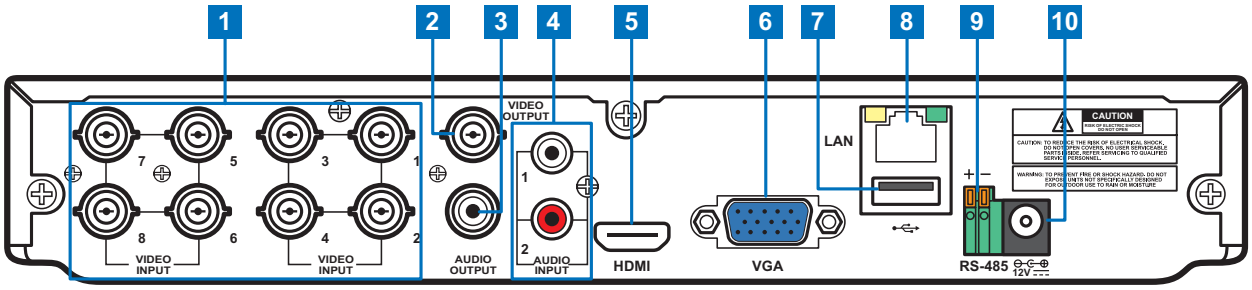
番号	項目	説明
1	HDDインジケーター	HDDがアクセス中の場合は赤に点灯します。
2	電源インジケーター	緑に点灯して電源がONであることを示します。
3	USBポート	USBマウス、フラッシュディスク、およびその他の外部ストレージドライブに接続します。

1.2.2 背面パネル

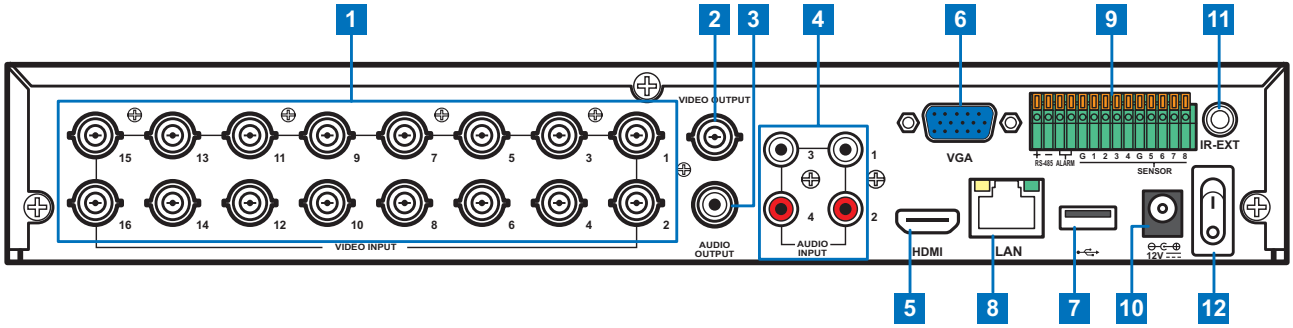
4チャンネルDVR



8チャンネルDVR



16チャンネルDVR

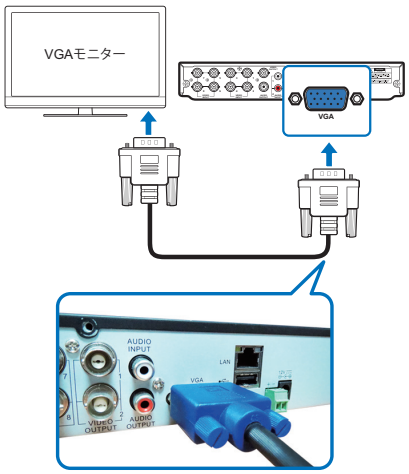


番号	コネクター	説明
1	ビデオ入力	BNC経由で最大4/8/16台のビデオ入力デバイスに接続します。
2	ビデオ出力	BNC経由でビデオ出力デバイスに接続します。
3	オーディオ出力	RCA経由でオーディオ出力デバイスに接続します。
4	オーディオ入力	RCA経由で最大2 (4または8チャンネル)/4 (16チャンネル) 台のオーディオ出力デバイスに接続します。
5	HDMI出力	HDMI経由でモニター出力に接続します。
6	VGA出力	VGAモニターに接続します。
7	USBポート	USBマウス、フラッシュディスク、およびその他の外部ストレージドライブに接続します。
8	LAN	RJ-45経由でLANに接続します。
9	RS-485	4/8チャンネルDVR：RS-485経由でスピードドームカメラに接続します。 16チャンネルDVR：RS-485経由でスピードドームカメラ、センサー、またはアラームに接続します。
10	電源	電源アダプターに接続します。
11	IR-EXTポート	リモコンとDVRの間の距離が離れすぎている場合は、IRエクステンダーポートにIRエクステンダー（別売り）を設置する必要があります。
12	電源スイッチ	これを押してDVRの電源をONまたはOFFにします。(16チャンネルのみ)

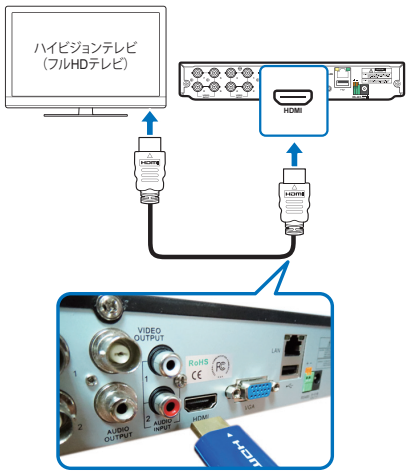
1.3 基本設定

1.3.1 ビデオディスプレイの接続

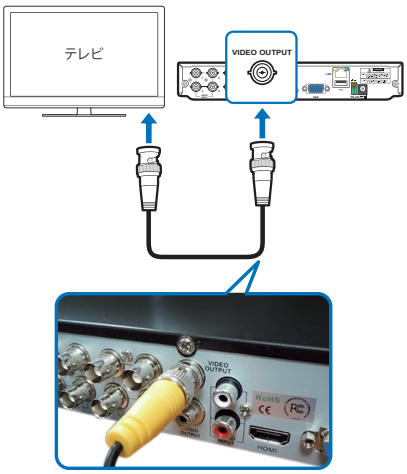
VGA、HDMI、またはBNC接続を介してモニターにプレビュー画面を表示させることができます。



VGAモニターのVGAケーブルをDVRのVGAポートに接続します。



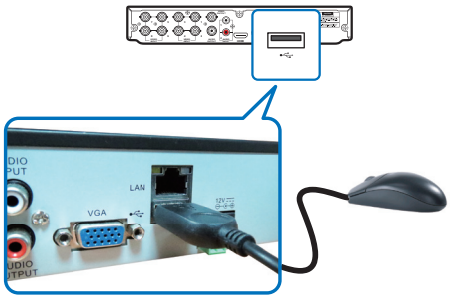
ハイビジョンテレビのHDMIケーブルをDVRのHDMIポートに接続します。



BNC-to-RCAケーブル一端をDVRの「ビデオ出力」ポートに接続します。その後、そのケーブルの他端をテレビの「ビデオ入力」ケーブルに接続します。

1.3.2 USBマウスをDVRに接続

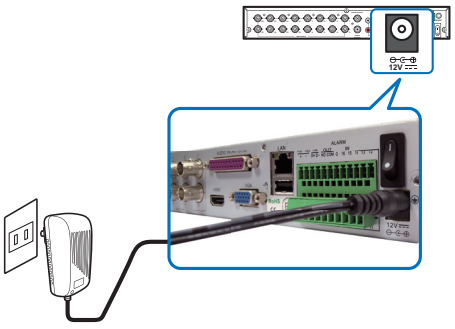
USBマウスをDVRの背面パネルまたは前面パネルのUSBポートに接続します。



1.3.3 DVRの電源ON

属の電源アダプターの一端をDVRのDC 12Vに接続します。そのケーブルの他端をコンセントまたはサージプロテクタに接続します。

16チャンネルDVRの場合は、**電源スイッチ**を押して電源をONにします。



起動時に、システムは、基本的なシステムチェックを実行し、初期ロードシーケンスを実行します。システムが起動プロセスを完了した後、開始ウィザードが画面に表示されます。

1.4 カメラへの接続

恒久的な設置の前にカメラをテストします。カメラの配線方法および設置場所を計画します。

ステップ1

カメラのBNC/電源ケーブルを18mスリムケーブルの対応するコネクターに接続します。

ステップ2

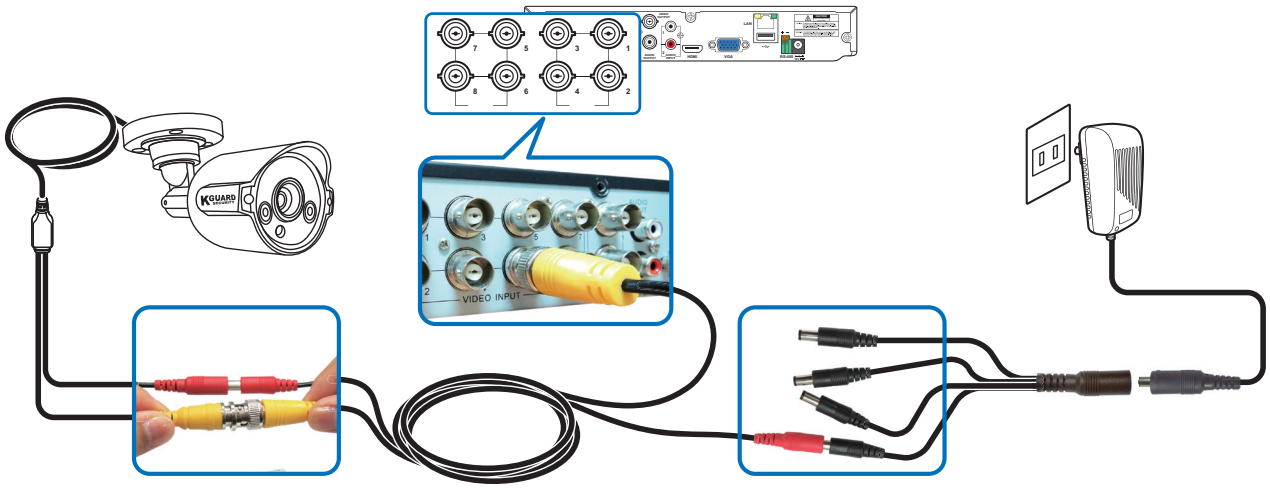
18mスリムケーブルのBNCコネクターをDVRの「ビデオ入力」ポートに接続します。

ステップ3

パワースプリッターの電源ケーブルの一端を、18mスリムケーブルの電源ケーブルに差し込みます。

パワスプリッターの片端を電源アダプターに接続します。

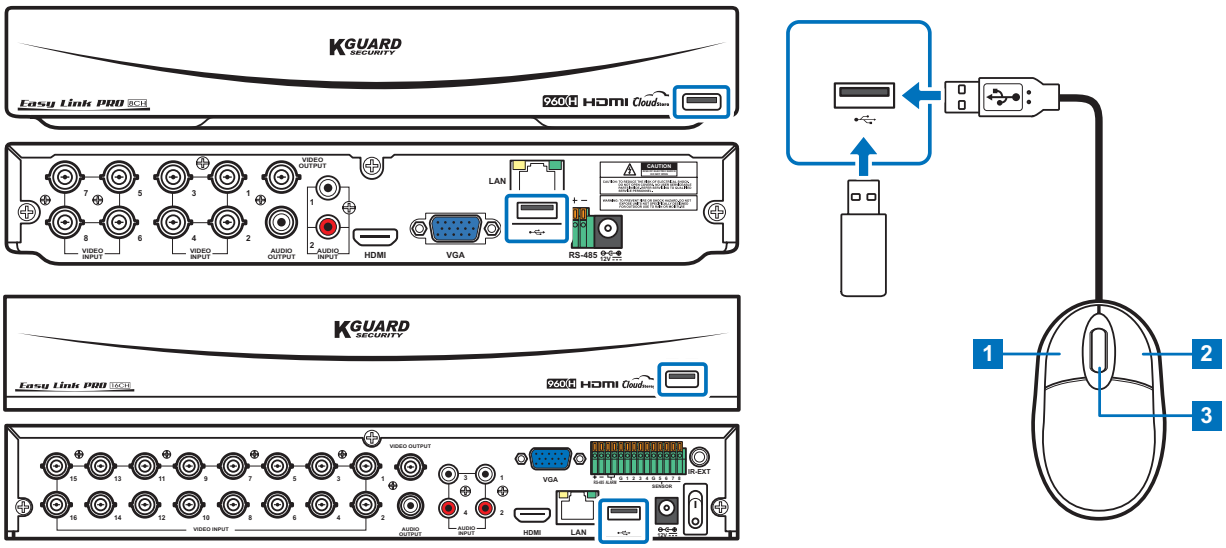
または、1台のカメラしか接続しない場合には、電源ケーブルを電源アダプターに直接接続します。



4ウェイパワスプリッターを使って、接続を拡張します（最大4台のカメラ）。

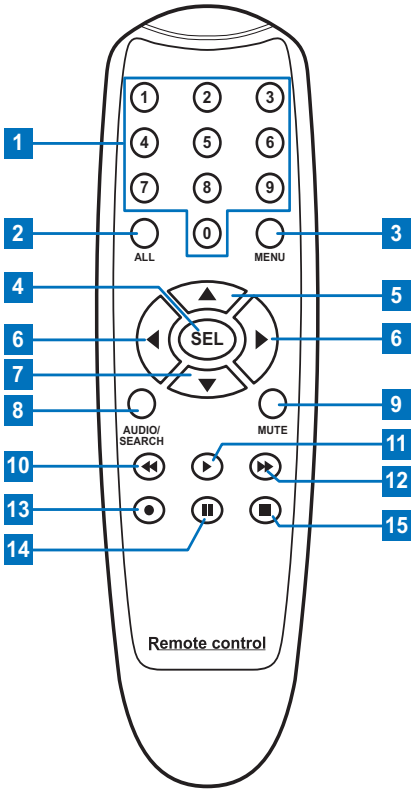
1.5 マウスコントロール

DVRの操作に使用可能なUSBマウスがDVRに付属しています。付属のマウスを、デバイスの背面パネルまたは前面パネルにあるUSBポートに接続します。

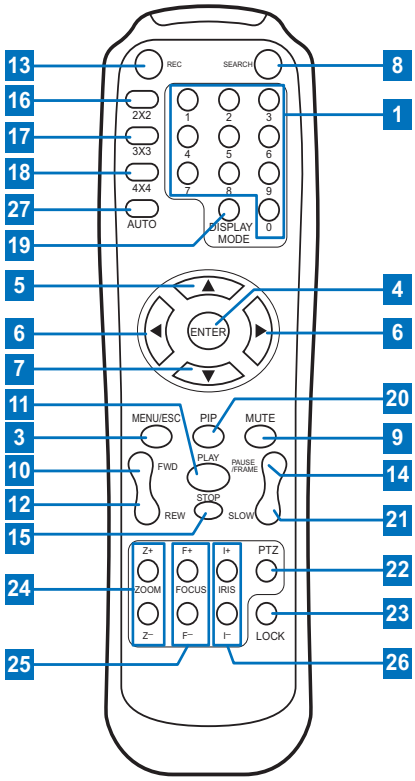


番号	ボタンタイプ	説明
1	左ボタン	OSDメニューで、左ボタンを押して設定の選択と編集を行います。
		いずれかのチャンネルのライブ画像をダブルクリックすると全画面表示されます。もう一度左ボタンをダブルクリックすると、全カメラの画面表示に戻ります。
2	右ボタン	プレビューモードで右ボタンをクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
		メインメニューまたはサブメニューモードで右ボタンをクリックすると、現在のメニューが終了します。
3	スクロールホイール	機能はありません。

1.6 リモートコントロール



4チャンネルDVR / 8チャンネルDVR



16チャンネルDVR

番号	アイコン	説明
1	0 ~ 9	数字キー これを押すと、チャンネルを全画面表示します。 「0」キーを押してビデオ出力モニター (HDMI/VGAまたはBNC) を切り替えます。
2	全て	これを押すと全チャンネルを表示します。
3	メニュー / エスケープ	これを押してメインメニューに出入りします。
4	SEL/ENTER	これを押すと、選択したメニュー項目に入り、設定を編集します。
5	▲	これを押すとOSDメニュー内で上に移動します。
6	◀ ▶	これを押すとOSDメニュー内で左右に移動します。
7	▼	これを押すとOSDメニュー内で下に移動します。
8	音声 / 検索	再生モードでは、これを押して音声をONまたはOFFにします。 これを押して録画済みビデオを検索します。
9	ミュート	これを押してミュートをONまたはOFFにします。
10	◀◀ /REW	ビデオの再生時にこれを押すと巻き戻しします。
11	▶ /再生	これを押して録画済みビデオを再生するか、または録画検索メニューに入ります。
12	▶▶ /FWD	ビデオの再生時にこれを押すと早送りします。

番号	アイコン	説明
13	● /REC	これを押すと手動録画を開始します。
14	❚❚ /一時停止 / フレーム	これを押すとビデオ再生を一時停止したり、フレーム再生モードに入ります。
15	■ /停止	これを押すと手動録画を停止するか、またはビデオ再生を停止します。
16	2X2	これを押すと2x2チャンネルディスプレイを表示します。
17	3X3	これを押すと3x3チャンネルディスプレイを表示します。
18	4X4	これを押すと4x4チャンネルディスプレイを表示します。
19	ディスプレイモード	これを押すと、マルチ画面表示 (4CH、9CH、16CH、フルスクリーン) を切り替えます。
20	PIP	これを押すとピクチャーインピクチャー (PIP) モードに入ります。
21	スロー	これを押すとビデオをスローモーション再生します (1/2, 1/4, 1/8)。
22	PTZ	これを押してPTZ設定を行います。
23	メニューロック	システムをロックします。
24	ズーム	Z+を押すとディスプレイをズームインし、Z-を押すとズームアウトします。
25	フォーカス	F+またはF-を押してフォーカスを調整します。
26	絞り	I+またはI-を押して絞りを調整します。
27	自動	これを押すと自動循環モードに入ります。

日本語

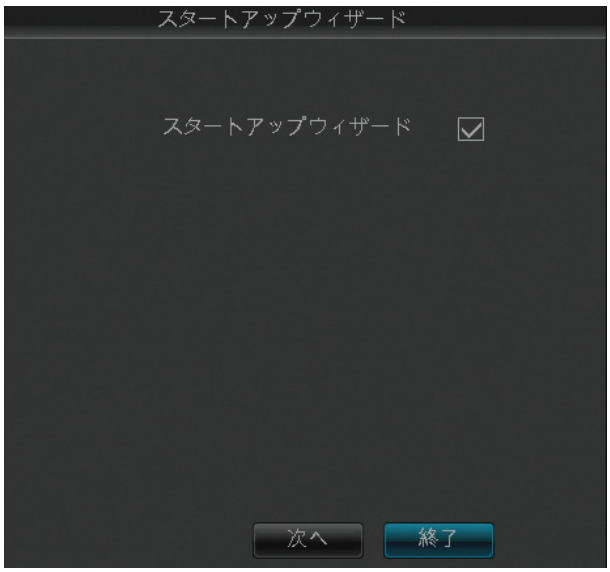
2章：DVRの使用

2.1 スタートアップウィザード

セットアップウィザードは、DVRを最初に起動したときに自動的に実行されます。

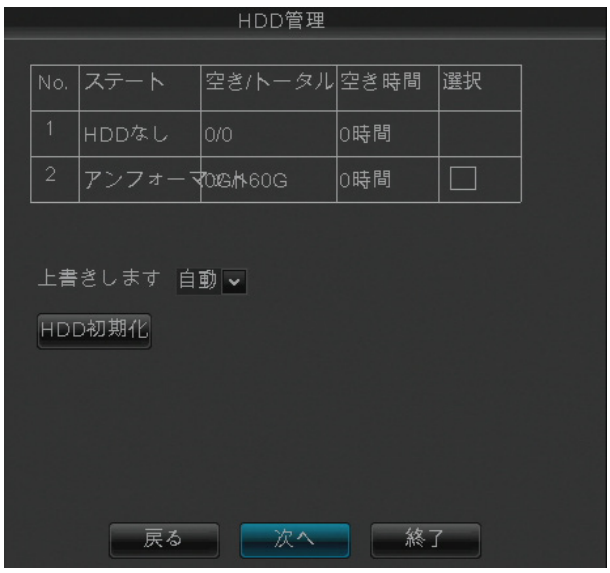
特に以下の画面上の指示に従い、DVRを動作させます：

- ハードドライブの管理
- 録画スケジュール
- システムの一般的な構成
- ネットワーク構成
- 言語の選択
- ビデオ形式および解像度の設定
- 日付形式およびタイムゾーンの設定
- DVRが警告を送信できるようにするための電子メールアカウントの設定
- オンラインサーバーとDVRの時刻の同期
- サマータイム (DST) 設定の選択



スタートアップウィザードをキャンセルするには、チェックボックスにある 3 アイコンのチェックを外してから、[**Exit(終了)**]をクリックして現在のメニューを閉じます。
開始ウィザードは、システム再起動後は表示されません。

HDD管理



HDDのステータスおよび容量を表示します。

HDDをフォーマットするには、[**Format(フォーマット)**]ボックスにチェックを入れ、[**Format(フォーマット)**]をクリックします。

[**Overwrite(上書きします)**]：上書き間隔オプションを選択します。

- [**Auto(自動)**] (推奨)：システムのHDDは、自動的にHDD最も古いコンテンツ上書きします（先入れ先出し）。
- [**1 Day(1日)**] / [**7 Days(7日)**] / [**30 Days(30日)**] / [**90 Days(90日)**]：ハードドライブがデータを保持すべき所望の期間を選択します。
- [**Close(閉じる)**]：ハードディスクドライブが一杯になった時、録画を停止します。

録画スケジュール

[**Channel(チャンネル)**]：スケジュールを適用するチャンネルを選択します。

[**Week(週)**]：スケジュールを適用する曜日を選択します。例えば、月曜日のスケジュールを定義した後、コピー機能を使って、火曜日～金曜日に対して同じスケジュールを適用することができます。

[**Normal (N) Recording(正常録画)**]：タイムスロットが緑色の場合、そのタイムスロットではチャンネルはノーマル録画を行っています。指定した日に24時間すべてを録画しない場合は、緑色のスロットをクリックして、[**No Record (録画なし)**] (グレー色のスロット) に変更します。

[**Motion (M) Recording(動き録画)**]：タイムスロットが黄色の場合、そのタイムスロットでは、チャンネルは動作が検出された場合のみ録画します。このタイプの録画を使用することをお勧めします。モーション録画とは、動きが検出された場合にのみ録画がトリガされることを意味します。

一般システム配置

[**Date and Time(日付と時間)**]：現在の日付および時刻が、画面上に表示されます。日付/時刻を変更するには、対応するフィールドをクリックし、画面上のキーボードを介して修正を行う必要があります。変更完了後、[**Save(保存)**] ボタンをクリックします。

[**Date Format(日付フォーマット)**]：画面に日付を表示する方法を選択します。お住まいの地域の標準形式を使用することをお勧めします。

[**Time Format(時間フォーマット)**]：画面に時刻を表示する方法を選択します。使用可能なオプションは、24時間形式または12時間形式です。

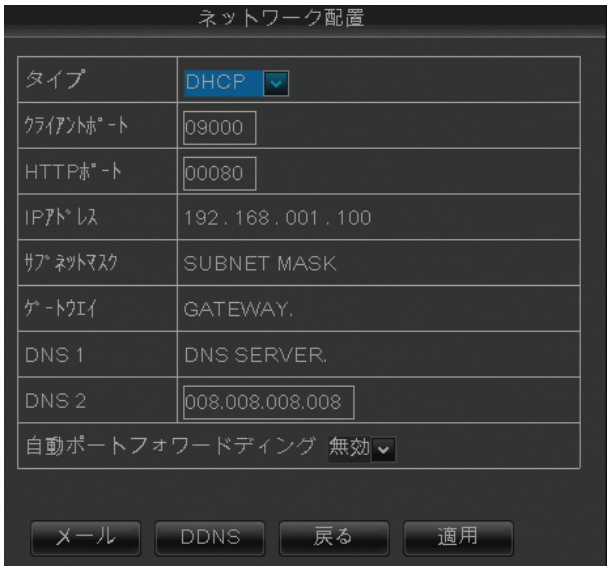
DST：お住まいの地域で適用可能である場合、サマータイムを設定します。デフォルトでは、DSTは[**Disable(無効)**]に設定されています。

NTP：有効なインターネット接続が必要なため、当面は、NTP (ネットワークタイムプロトコル) をスキップします。デフォルトでは、この項目は有効です。時刻および日付が自動的に更新されることを意味します。

[**Language(言語)**]：DVRに表示するメニュー項目の希望する言語を選択してください。

[**Video Format(ビデオ初期化**]：ここでは、ビデオ形式を選択することができます。使用可能なオプションは、NTSCおよびPALです。NTSCは日本、カナダ、米国で使用されています。PALは、西欧およびオーストラリアで使用されています。DVRの画像がちらつく、または、白黒で表示される場合、ビデオ形式が正しくない可能性があります。

ネットワーク配置



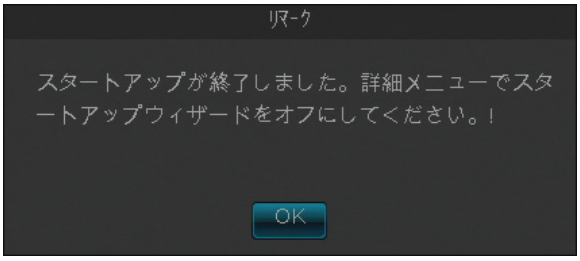
[**Type(タイプ)**]：使用しているネットワークタイプを選択します。最も一般的なタイプは、[**DHCP**]または[**Static**]です。ネットワークが*手動*でアドレス付け (いわゆる **Static**) されていない場合、おそらくネットワークタイプは、**DHCP**です。

注意：ネットワークタイプが**Static**である場合は、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、およびDNS 1/2サーバーを決定するために、ISPに問い合わせてください。ネットワークタイプがDHCPである場合、DVRは、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイおよびDNS1/(2) などの接続パラメータをが自動的に取得します。

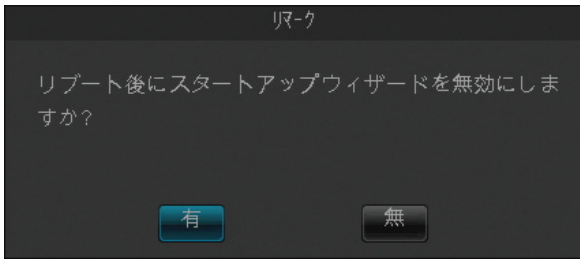
[Mobile Port(モバイルポート)]、[Client Port(クライアントポート)]および**[HTTP Port(HTTPポート)]**：当面は、デフォルトのポート値を保持します。クライアントおよびHTTPポートは、HTTPインターフェイスまたはスマートフォン/タブレットを介してPCからリモートでDVRにアクセスする前に設定することが重要です。

初めての起動時には、[**Email(Eメール)**]または[**DDNS**]を設定する必要があります。

[**Apply(適用)**]をクリックします。画面に通知メッセージが表示され、[**OK**]をクリックします。



再起動後に開始ウィザードを無効にすることの確認を求める別の通知メッセージが、画面に表示されます。[**Yes(有)**]をクリックします。



DVRが再起動します。

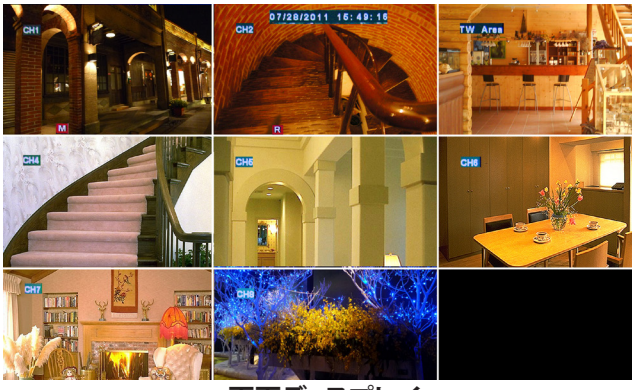
2.2 オンスクリーンディスプレイの使用

ライブ映像表示は、DVRのデフォルトモードです。すべての接続されたカメラが、画面に表示されます。DVRはモデルに応じて、最大4、8または16台のカメラからの映像を表示することができます。

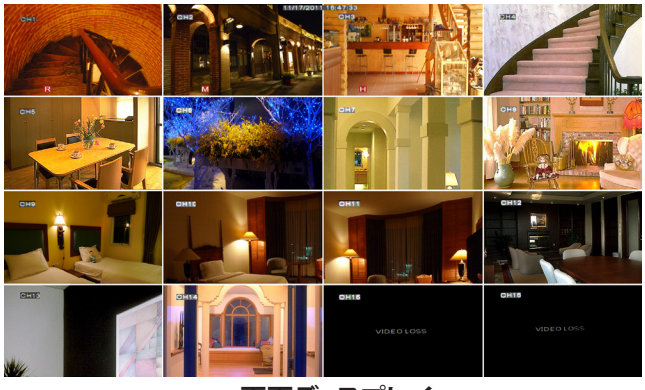
2.2.1 スクリーンアイコン

各チャンネルのメイン画面には4種類の録画インジケーターがあります。

4画面ディスプレイ



8画面ディスプレイ



16画面ディスプレイ

アイコン	説明
M	モーション検出が有効になります。
H	HDDのメモリがいっぱいです。
	HDDを検出できません。
R	ビデオ録画が進行中です。
ビデオロス	ビデオロスです。

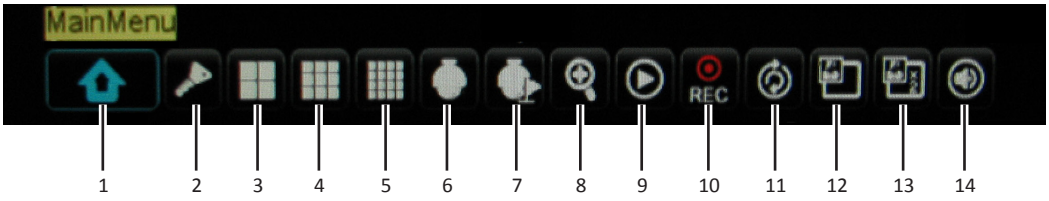
注意:

- 録画モード時、[R] アイコンまたは [M] アイコンが画面に表示されます。[M] アイコンが画面に表示された場合は、モーション検出が有効であることを示します。
- 「ビデオロス」が画面に表示された場合は、カメラ接続をチェックします。

2.3 メニューの使用

2.3.1 メニューバーの使用

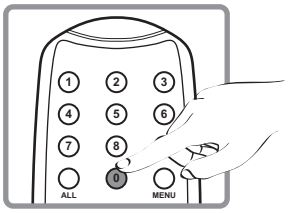
メニューバーにアクセスするには、右クリックするか、画面の下部にマウスカーソルを移動します。



番号	ボタン	説明
1	メインメニュー	OSDメニューにアクセスし、DVR設定を調整します。
2	メニューロック	OSDメニューに入るアクセスをロックします。OSDメニューに入る前に、ユーザー名とパスワードをタイプする必要があります。
3	表示4	4画面ディスプレイに切り替えます。
4	表示9	9画面ディスプレイに切り替えます。
5	表示16	16画面ディスプレイに切り替えます。
6	PTZ	PTZコントロールを使用します。
7	PTZクルーズの開始 / 終了	PTZカメラのクルーズを開始または終了します。
8	ズーム	ズームを有効にします。
9	録画検索	再生する録画済みビデオを検索します。
10	録画の開始 / 終了	手動録画を開始または終了します。
11	循環の開始 / 終了	チャンネル表示の循環を開始または終了します。
12	PIP 1x1	他の1チャンネルを小さい画面に入れた状態で1チャンネルをフルスクリーン表示します。
13	PIP 1x2	他の2チャンネルを小さい画面に入れた状態で1チャンネルをフルスクリーン表示します。
14	音声	音声をOFFまたはONにします。

注意:

モニター上にメニューまたはマウスが表示されない場合は、「ビープ音」が鳴るまでリモコンの0を押します。



2.3.2 メインメニューの使用

次の方法のいずれかによりOSDメニューにアクセスできます。

- ﾒﾆｭｰﾊﾞｰから、[**Main Menu(メインメニュー)**]を選択します。
- リモコンの[**Menu(メニュー)**]ボタンを押してから、[**Main Menu(メインメニュー)**]を選択します。

いずれかのメニューオプションを選択し、必要な設定を行います。

- **[DISPLAY(表示)]:**映像の色の設定、ビデオ出力解像度、プライバシーゾーンなどを表示に関するすべての設定を行います。
- **[RECORD(録画)]:**チャンネルに対する録画オプション (例えば、解像度) および録画スケジュールを設定します。
- **[SEARCH(検索)]:**タイプ別に録画 (録画オプション)、イベントおよびログを検索します。
- **[NETWORK(ネットワーク)]:**DVRのネットワークに対するアクセスパラメータの設定、リモートストリームに対するパラメータ (例えば、解像度) の定義、通知を受信するためのEメール設定、DDNSパラメータ設定を行います。
- **[ALARM(アラーム)]:**モーションエリアと感度の設定 (DVRを構成する際、非常に重要なパラメータ)、アラーム設定 (アラーム発生時に何を行うか) を行います。
- **[DEVICE(デバイス])]:**内蔵HDDの録画可能時間を表示し、HDD上書きオプションを決定します。また、PTZ構成パラメータおよびDVRをクラウドアカウントにリンクするための接続パラメータを設定することができます。
- **[SYSTEM(システム)]:**日付および時刻パラメータの設定、DVRのインターフェース言語の変更、ユーザーの変更およびシステムに関する一般的な情報を参照します。
- **[ADVANCED(アドバンス)]:**基本的な保守タスク (例えば、スケジュール再起動) を変更します。起動オプションの決定、ファームウェアアップデート、安全なシステムのシャットダウンを行います

2.4 パスワードの管理

認証されていない者によるOSD操作から保護するため、画面をロックすることができます。画面がロックされた場合、システムにアクセスする前にユーザー名とパスワードを入力する必要があります。デフォルトのユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名：admin
パスワード：123456

プライバシーを確保するため、できるだけ早くパスワードを変更することをお勧めします。

[Account types(アカウントタイプ)]：1つの管理者アカウント (ADMIN) と6つのユーザーアカウントがあります。

- [ADMIN(管理者)] — システムの完全な制御を有し、管理者およびユーザー両方のパスワードを変更し、パスワード保護を有効/無効にすることができます。システムに対する様々なアクセスレベルを有する複数のユーザーアカウントを設定することができるます。
- [USER(ユーザー)] — ライブ表示、検索、再生、およびその他の機能にのみアクセスできます。

2.4.1 パスワードの変更

パスワード長は6桁の数字である必要があります。管理者パスワードを変更するには：

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 **[Main Menu(メインメニュー)]** > **[SYSTEM(システム)]** > **[Users(ユーザー)]**を選択します。

3 アカウントのチェックボックスをクリックしてパスワードを変更します。√アイコンが表示されます。

4 **Edit(編集)**をクリックします。

5 以下を設定します:

- [**User Name(ユーザーネーム)**]:ご希望のユーザー名を入力します。
- [**Password(パスワード)**]:ご希望のパスワードを入力します。
- [**Confirm(確認)**]:パスワードを再入力します。

6 すべての設定が完了したら、[**Apply(適用)**]をクリックします。

7 データの保存が完了したら、[**OK**]をクリックします。

2.4.2 他のユーザーの設定

他のユーザーを追加し、アクセス権を設定するには、管理者アカウントでログインしてから以下を行う必要があります。

1 プレビューモードで、マウスを右クリックしてポップアップメニューを表示させます。

2 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**SYSTEM(システム)**] > [**Users(ユーザー)**]を選択します。

3 ユーザーアカウントのチェックボックスをクリックします。√アイコンが表示されます。

4 [**Permission(許可)**]をクリックします。

5 ユーザーにアクセスを許可する関連メニューのチェックボックスを選択します。

« ヒント »
[**All(全て)**]をクリックして全オプションをチェックするか、または[**Clear(クリア)**]をクリックして全オプションの選択を解除します。

6 すべての設定が完了したら、[**Apply(適用)**]をクリックします。

7 以下を設定します:

- [**User Name(ユーザーネーム)**]:ご希望のユーザー名を入力します。
- [**Password Enable(パスワード有効)**]:[**Enable(有効)**]を選択し、ユーザーアカウントを有効化します。
- [**Password(パスワード)**]:ご希望のパスワードを入力します。
- [**Confirm(確認)**]:パスワードを再入力します。

8 すべての設定が完了したら、[**Apply(適用)**]をクリックします。

9 データの保存が完了したら、[**OK**]をクリックします。

注意:
ユーザーアカウントを使用してシステムにログインする場合、*ステップ5*で割り当てたメニューにのみアクセスすることができます。

2.5 録画モード

注意:

最初に録画を開始する前に適切にHDDが取り付けられていることを確認してください。

2.5.1 ノーマル録画

デフォルトでは、システムはすぐに継続記録モードで接続されたカメラからの映像を記録するように設定されています。

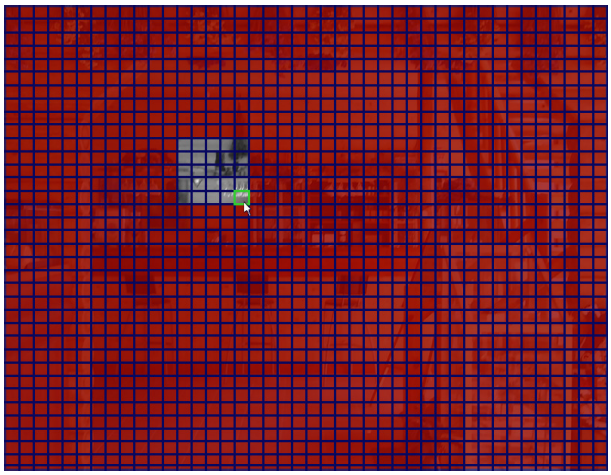
ハードドライブが一杯になった時、録画を停止するようにシステムを設定したり、または、以前に記録されたデータを上書きして継続的録画するように設定したりすることができます。詳細は、「付録:HDD管理」を参照してください。

2.5.2 モーション録画

モーションがカメラによって検出されたときにシステムは録画します。録画スケジュールを設定するには:

1 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**ALARM(アラーム)**] > [**Motion(モーション)**]をクリックします。

2 必要な設定を変更します。



- [**Channel(チャンネル)**]:モーション検出を設定するチャンネルを選択します。
- [**Enable(有効)**]:[**Enable(有効)**]を選択すると、そのチャンネルでモーション検出アラームが有効になります。
- [**Area(エリア)**]:[**Setup(設定)**]をクリックしてモーション検出アラームエリアを選択します。
- [**Sensitivity(感度)**]:モーション検出感度率を選択します。オプションは1~8です。ここで「8」は感度が最高、「1」は感度が最低です。
- [**Show Message(メッセージ表示)**]:ボックスをチェックすると、アラームがトリガーされた時、画面上にメッセージが表示されます。
- [**Buzzer(ブザー)**]:動作が検出された時はブザーの時間を設定します (オフ / 10秒 / 20秒 / 40秒 / 60秒)。ブザーを無効にするには、**Off(オフ)**を選択します。
- [**Send Email(Eメール送る)**]:チェックするとEメールによるアラーム通知が有効になります。この機能を有効にすると、指定したメールアドレスにシステムからアラーム画像が送信されます。
- [**Full Screen(全画面)**]:ボックスをチェックするとこの機能が有効になります。この機能を有効にしてアラームをトリガーした場合、関連するチャンネルがフルスクリーン表示されます。画面の表示期間を選択します ([1 S(1秒)] / [3 S(3秒)] / [5 S(5秒)] / [7 S(7秒)] / [10 S(10秒)])。
- [**Record Channel(録画チャンネル)**]:ボックスをチェックすると録画が有効になり、続いてチャンネルを選択するとアラームがトリガーされた時に録画します。
- [**Post Recording(遅延記録)**]:アフレコの期間を選択します。

3 現在の設定を他のチャンネルにコピーするには、そのチャンネルを選択してから[**Copy(コピー)**]をクリックします。

4 [**Apply(適用)**]をクリックして設定を保存します。

2.5.3 手動録画

録画スケジュールを設定するには：

1 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**RECORD(録画)**] > [**Schedule(スケジュール)**]をクリックします。

2 以下を設定します：

- [**Channel(チャンネル)**]：スケジュールを設定するチャンネルを選択します。
- [**Week(週)**]：スケジュールを実装する曜日を選択します。

3 録画グリッドをクリックして、録画タイプと期間を選択します。

録画スケジュールは、グリッドとして配置されてます。各行は、録画モードを表し、各ボックスは時間を表します。

- **N** — [**Normal(正常)**]：タイムスロットが緑色の場合、そのタイムスロットではチャンネルはノーマル録画を行っています。
- **M** — [**Motion(動き)**]：タイムスロットが黄色の場合、そのタイムスロットでは、チャンネルは動作が検出された場合のみ録画します。
- [**No Record(録画なし)**]：タイムスロットがグレーの場合、録画スケジュールはありません。
- **A** — [**Alarm(アラーム)**] (16チャンネルの場合のみ)：タイムスロットが赤色の場合、そのタイムスロットでは、チャンネルはアラームがトリガーされた場合のみ録画します。

4 (オプション) [**Copy(コピー)**]および[**To(選択)**]ドロップダウンを使って、録画スケジュールを特定の日または全ての日にコピーします。[**Copy(コピー)**]をクリックして、スケジュールをコピーします。

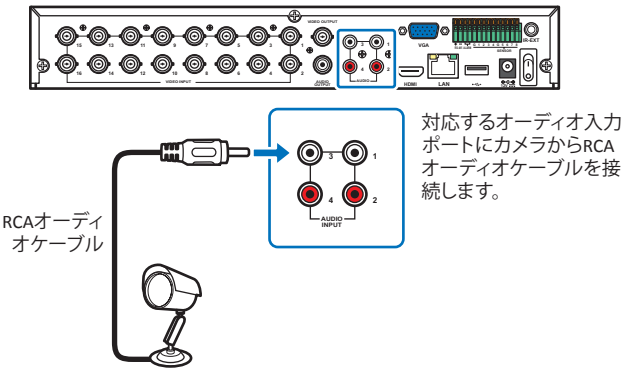
5 (オプション) ボタン[**Copy(コピー)**]および[**To(選択)**]ドロップダウンを使って、録画スケジュールを特定のチャンネルまたは全てのチャンネルにコピーします。[**Copy(コピー)**]をクリックして、スケジュールをコピーします。

6 [**Apply(適用)**]をクリックして設定を保存します。

2.5.4 音声の録音

また、システムは、モデルに応じて最大2または4チャンネルの音声を録音することができます。以下を行う必要があります：

1 システムで音声を録音するには、音声対応カメラ（別売）、または、電源内蔵型マイク（別売）が必要です。



2 [**RECORD(録画)**] > [**Record Setup(録画設定)**]ﾒﾆｭｰで、システム上での音声録音を有効にします。

日本語

2.6 再生およびバックアップ

検索メニューを介してシステムに録画したビデオ記録された映像を表示およびバックアップすることができます。

注意:

最初に録画を開始する前に適切にHDDが取り付けられていることを確認してください。

2.6.1 ビデオの検索と再生

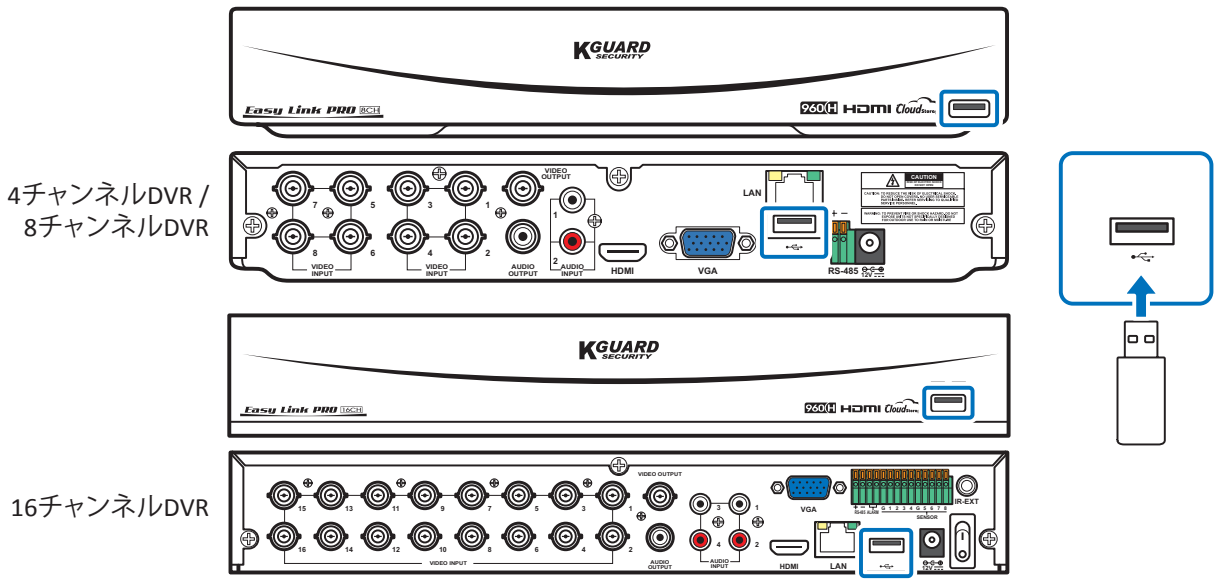
1 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**SEARCH(検索)**] > [**Record Search(録画検索)**]をクリックします。

2 以下を設定します:

- [**CH(チャンネル)**]:録画したビデオを検索するチャンネルを選択します。
- [**Search Date(検索日)**]:録画したビデオを検索する日付を指定します。
- [**Replay Time(リプレー時間)**]:録画を再生する開示時間を指定します。
- [**Search(検索)**]:[**Search(検索)**]をクリックして、検索を開始します。
- [**Play(再生)**]:[**Play(再生)**]をクックして、再生を開始します。

2.6.2 ビデオのバックアップ

1 USBデバイスをDVRのUSBポートに接続します。

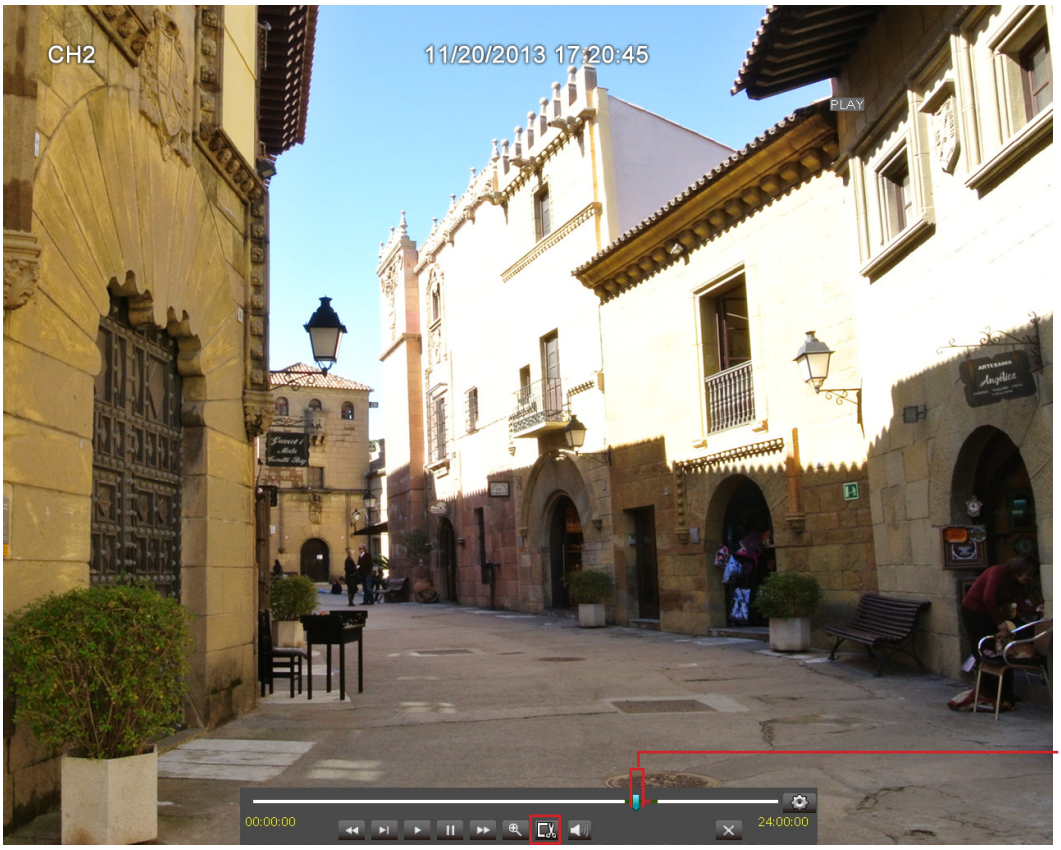


2 映像を検索・再生します。

3 ダブルクリックして、チャンネルを全画面に表示して、ビデオを再生中に をクリックします。トリミングを停止するには、 をクリックします。

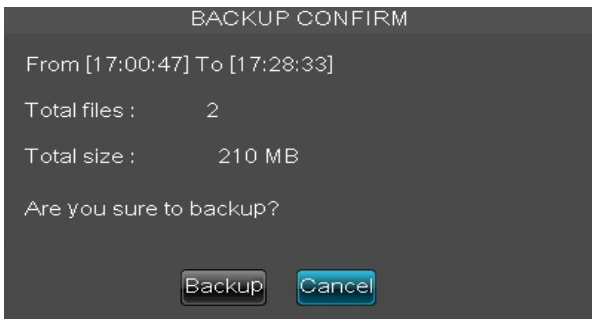
注意:

ビデオのトリミングは、DVRのHDD上に保存されたビデオを変更しません。これは、外部ストレージデバイス上にエクスポートするビデオの時間を決定するだけです。



トリミングの選択の例。

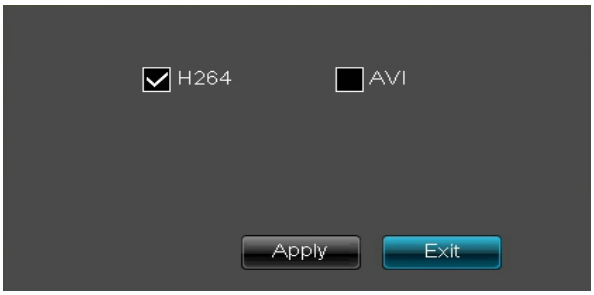
4 トリミングを停止した後、ファイルの保存を確認するよう求められます。[**Backup(バックアップ)**]をクリックします。



5 バックアップ用ビデオ形式を選択するよう指示されます。使用可能なオプションは、[**H.264**]および[**AVI**]です。形式を選択し、[**Apply(適用)**]をクリックします。

注意:

- H.264形式を選択した場合、PC上にバックアップしたビデオを再生するには、付属CDからビデオプレーヤーをインストールする必要があります。
- AVI形式を選択している場合、PC上にバックアップしたビデオを再生するために任意のビデオプレーヤーを使用することができます。



6 バックアップが完了したら、[**OK**]をクリックして、バックアップ状態画面を閉じます。

注意：

転送が進行中の時はUSBデバイスを取り外さないでください。

3章：ネットワークおよびリモートアクセス

3.1 DVRのネットワーク設定

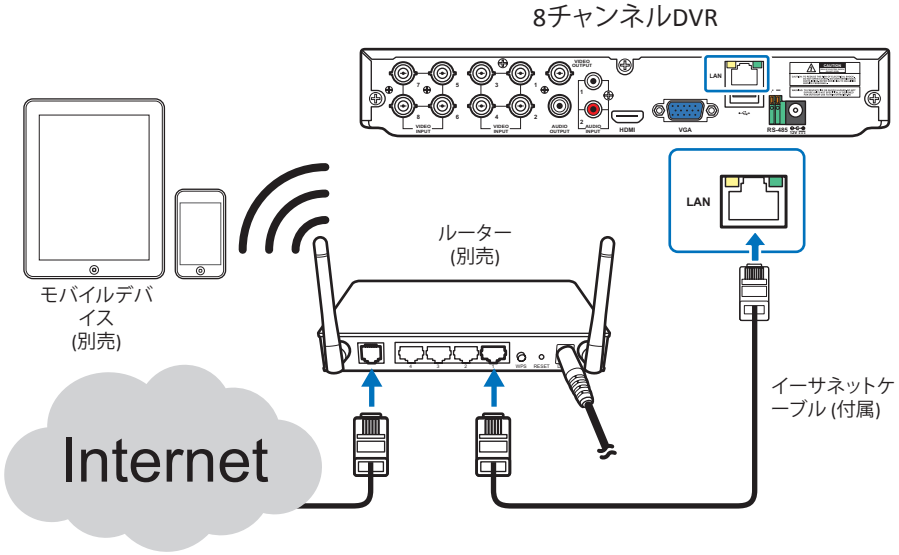
3.1.1 開始する前に

1 以下があることを確認してください：

- ルーターおよび高速インターネットアクセス（含まれていません）。
- イーサネットケーブルを使用してルーターに接続されたDVR。
- DVRと同じルーターにWi-Fiを使用して接続されたモバイルデバイス。

2 このDVRには、3つのネットワーク接続オプション：(固定IP、DHCP、およびPPPoE) が用意されています。使用しているネットワーク接続タイプを確認してくださいできない場合は、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に、それを決定するために相談してください。

- **DHCP**：DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol) サービスにより、お使いのルーターはDVRにIPアドレスを自動的に割り当てます。
- **Static**：Point-to-Point Protocol over Ethernet (PPPoE) は、Ethernetフレーム内のPoint-to-Point Protocol (PPP) フレームをカプセル化するネットワークプロトコルです。このネットワークプロトコルでは、デバイスはDSLモデムを用いて直接接続できるようになります。
- **PPPoE**：Point-to-Point Protocol over Ethernet (PPPoE) は、Ethernetフレーム内のPoint-to-Point Protocol (PPP) フレームをカプセル化するネットワークプロトコルです。このネットワークプロトコルでは、デバイスはDSLモデムを用いて直接接続できるようになります。



3.1.2 ネットワーク設定

DHCP

1 [Main Menu(メインメニュー)] > [NETWORK(ネットワーク)]をクリックします。

2 以下を設定します:

- [**Type(タイプ)**]:DHCP
- [**Client Port(クライアントポート)**]:デバイスがDVRコマンドとビデオストリームの送信に使用するポート番号を指定します。
- [**HTTP Port(HTTPポート)**]:デバイスへのログインに使用するポート番号を指定します。

  注意:
  デフォルトシステムポート:
  HTTPポート:80
  クライアントポート9000
  2つのデフォルトポート、80または9000のいずれかが使用できない場合は、指定したポートを他のプログラムが占有しているか、またはサービスプロバイダーによってブロックされている可能性があります。他のポート番号を入力します。この場合、IPアドレスの後にポート番号を追加する必要があります。例えば、HTTPポートを85と設定した場合、IPアドレスを「192.168.3.103:85」と入力する必要があります。
- [**Auto PortForwarding(UPNP:自動ポートフォワードディング)**]:[**Enable(有効)**] (推奨) または[**Disable(無効)**]選択して、自動ポート転送機能を有効または無効にします。

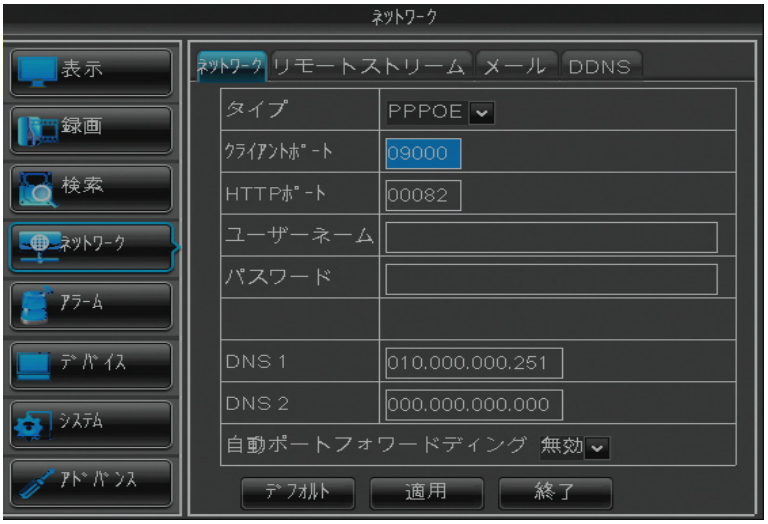
3 [**Apply(適用)**]をクリックして設定を保存します。

4 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**Advanced(アドバンス)**] > [**Maintain(メンテナンス)**] > [**Reboot(リブート)**]をクリックして、システムを再起動します。

5 QRコードをスキャンニングして、リモート接続をテストします、27ページの「3.2 モバイルアプリ」を参照してください。

PPPOE

1 [Main Menu(メインメニュー)] > [NETWORK(ネットワーク)]をクリックします。



2 以下を設定します:

- [**Type(タイプ)**]:PPPOE
- [**Client Port(クライアントポート)**]:デバイスがDVRコマンドとビデオストリームの送信に使用するポート番号を指定します。
- [**HTTP Port(HTTPポート)**]:デバイスへのログインに使用するポート番号を指定します。

  注意:
  デフォルトシステムポート:
  HTTPポート:80
  クライアントポート:9000
  2つのデフォルトポート、80または9000のいずれかが使用できない場合は、指定したポートを他のプログラムが占有しているか、またはサービスプロバイダーによってブロックされている可能性があります。他のポート番号を入力します。この場合、IPアドレスの後にポート番号を追加する必要があります。例えば、HTTPポートを85と設定した場合、IPアドレスを「192.168.3.103:85」と入力する必要があります。
- [**User Name(ユーザーネーム)**]:DSLサービスプロバイダとして設定するユーザー名を入力します。
- [**Password(パスワード)**]:DSLサービスプロバイダとして設定するパスワードを入力します。
- [**DNS 1**]:デフォルトです。
- [**DNS 2**]:デフォルトです。
- [**Auto PortForwarding(UPNP:自動ポートフォワードディング)**]:[**Enable(有効)**] (推奨) または[**Disable(無効)**]選択して、自動ポート転送機能を有効または無効にします。

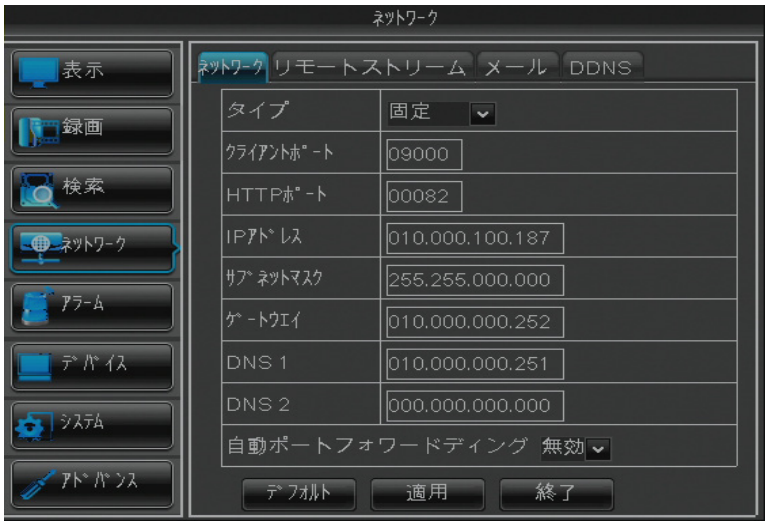
3 [**Apply(適用)**]をクリックして設定を保存します。

4 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**Advanced(アドバンス)**] > [**Maintain(メンテナンス)**] > [**Reboot(リブート)**]をクリックして、システムを再起動します。

5 QRコードをスキャンニングして、リモート接続をテストします、27ページの「3.2 モバイルアプリ」を参照してください。

スタティック

1 [Main Menu(メインメニュー)] > [NETWORK(ネットワーク)]をクリックします。



2 以下を設定します:

- [**Type(タイプ)**]:スタティック
- [**Client Port(クライアントポート)**]:デバイスがDVRコマンドとビデオストリームの送信に使用するポート番号を指定します。
- [**HTTP Port(HTTPポート)**]:デバイスへのログインに使用するポート番号を指定します。

  注意:
  デフォルトシステムポート:
  HTTPポート:80
  クライアントポート:9000
  2つのデフォルトポート、80または9000のいずれかが使用できない場合は、指定したポートを他のプログラムが占有しているか、またはサービスプロバイダーによってブロックされている可能性があります。他のポート番号を入力します。この場合、IPアドレスの後にポート番号を追加する必要があります。例えば、HTTPポートを85と設定した場合、IPアドレスを「192.168.3.103:85」と入力する必要があります。
- [**IP Address(IPアドレス)**]:これを決定するために、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に問い合わせてください。
- [**Subnet Mask(サブネットマスク)**]:これを決定するために、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に問い合わせてください。
- [**Gateway(ゲートウェイ)**]:これを決定するために、インターネットサービスプロバイダ (ISP) に問い合わせてください。
- [**DNS 1**]:デフォルトです。
- [**DNS 2**]:デフォルトです。
- [**Auto PortForwarding(UPNP:自動ポートフォワードディング)**]:[**Enable(有効)**] (推奨) または[**Disable(無効)**]選択して、自動ポート転送機能を有効または無効にします。

3 [**Apply(適用)**]をクリックして設定を保存します。

4 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**Advanced(アドバンス)**] > [**Maintain(メンテナンス)**] > [**Reboot(リブート)**]をクリックして、システムを再起動します。

5 QRコードをスキャンニングして、リモート接続をテストします、27ページの「3.2 モバイルアプリ」を参照してください。

3.2 モバイルアプリ

互換性のある携帯電話およびタブレット上でのDVRからのカメラストリームをリモートで表示することができます。
このシステムは、独占的にKViewソリューションを使用する接続性を備えており、ネットワーク設定またはコンピュータで設定を行うことを必要とせずに、モバイルデバイスを使用して簡単にアクセスできます。

3.2.1 互換性のあるデバイスおよびプラットフォーム

プラットホーム		サポートされるバージョンおよびデバイス	無料アプリ名	アプリ入手先
iOS	iPhone	5.0以上	KViewQR	Apple App Store
	iPad			
Android	モバイル	3.0以上		Google Play Store
	タブレット			

クイックリファレンス
デフォルトのアクセス情報:
- ユーザー名:admin
- パスワード:123456

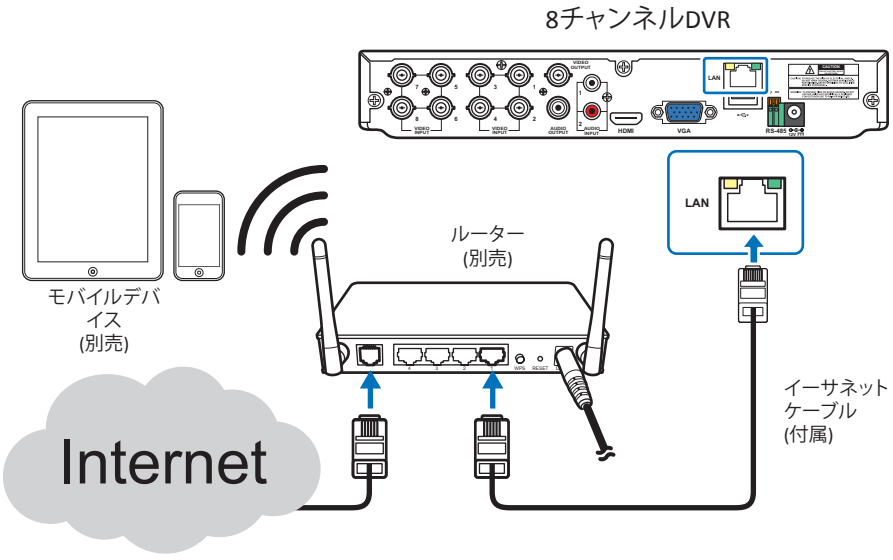
DVRを使ってモバイルデバイスに接続するには、以下が必要です:

DVR側:

DVRのネットワーク設定が正しく行われていること (23ページの「3.1 DVRのネットワーク設定」を参照)。

モバイルデバイス側:

モバイルデバイスがネットワークに接続されていること。
スマートフォン/タブレットではWi-Fiを使用し、DVRと同じルーターに接続してください。

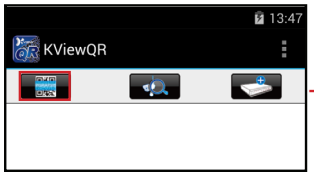


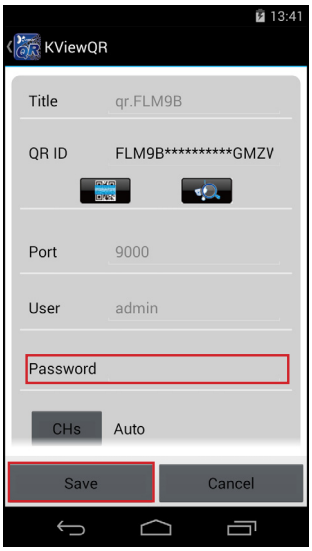
Android

a. スマートフォン/タブレット上にKViewQRアプリケーションをダウンロードしてください。次に、アプリケーションを開きます。

b. をタップし、スマートフォン/タブレットのカメラを使って、DVRの上部のQRコードをスキャンします。DVR識別ページが開きます。

注意:代替策として、 をタップし、ローカルデバイスを検索する、あるいは、 をタップし、ラベルに印刷されたDVR IDを手動で入寮することで、DVRを識別することができます。





c. それぞれのフィールドにユーザーおよびパスワードを入力します。

注意:デフォルトのユーザー名は、「**admin**」、そして、パスワードは、「**123456**」です。

d. [**Save(保存)**]をタップして、設定を保存します。DVRが、**KViewQR**アプリケーションのメインページに表示されます。

iOS (iPhone / iPad)

a. スマートフォン/タブレット上にKViewQRアプリケーションをダウンロードしてください。次に、アプリケーションを開きます。

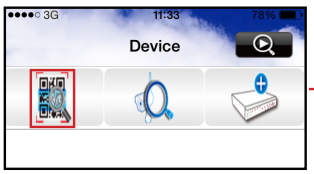
b. をタップし、スマートフォン/タブレットのカメラを使って、DVRの上部のQRコードをスキャンします。

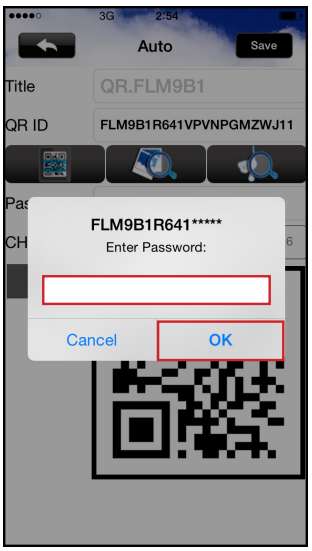
注意:代替策として、 をタップし、ローカルデバイスを検索する、あるいは、 をタップし、ラベルに印刷されたDVR IDを手動で入寮することで、DVRを識別することができます。

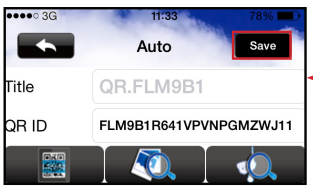
c. パスワードを入力し、[**OK**]をタップします。

注意:デフォルトのユーザー名は、「**admin**」、そして、パスワードは、「**123456**」です。

d. [**Save(保存)**]をタップして、設定を保存します。DVRが、**KViewQR**アプリケーションのメインページに表示されます。







3.3 PCおよびMacへ接続

DVRを使ってPC / Macに接続するには、以下が必要です:

DVR側:

DVRのネットワーク設定が正しく行われていること (23ページの「3.1 DVRのネットワーク設定」を参照)。

PC / Mac側:

システム要件

お使いのシステムが次のシステム要件を満たしているか、または、超えていることを確認します:

説明	要件
CPU	Pentium® 4またはそれ以上 or above
オペレーティングシステム	Windows 7/8 Mac OSX 10.6.6およびそれ以降 (Intelプロセッサのみ)**
メモリ	256 MB RAMまたはそれ以上
ビデオ	16 MBのビデオメモリ
ネットワーク (LAN)	10/100 Baseネットワーク
ネットワーク (WAN)	384 Kbpsアップロード* 最高のビデオ性能のため、1 Mbpsのアップロード速度をお勧めします
ブラウザ	Safari 6.0およびそれ以降** (Mac)

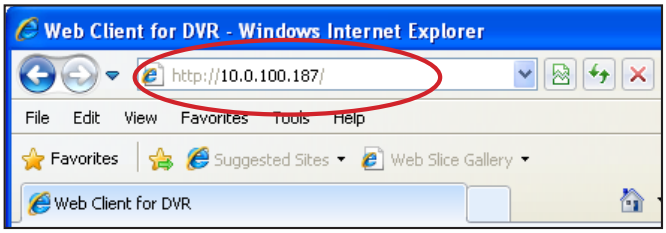
1 PC / Macをネットワークに接続します。

2 DVRのIPアドレスを取得し、それを書き留めます。

DVRのIPアドレスは、[NETWORK(ネットワーク)]メニューで設定したネットワーク設定によって異なります。

- ネットワークタイプがDHCPの場合は、DVRに割り当てられたIPアドレスについてネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ネットワークタイプがPPPoEの場合は、DVRに割り当てられたIPアドレスについてISPにお問い合わせください。
- ネットワークタイプがStatic IPの場合は、[**Main Menu(メインメニュー)**] > [**Network(ネットワーク)**]の下の[NETWORK]ﾒﾆｭｰで[IP ADDR]に設定したIPアドレスを確認してください。

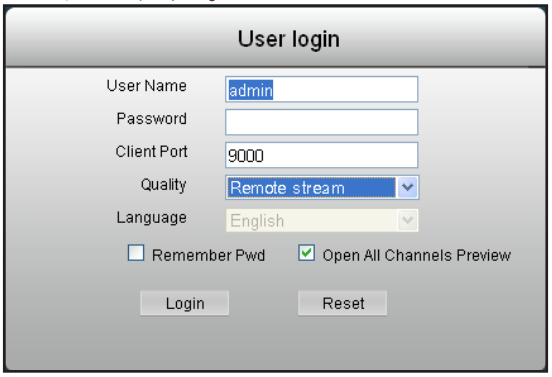
3 お使いのコンピューターのWebブラウザを開き、URLボックスにDVRのIPアドレスまたはドメイン名を入力します。一例として以下をご参照ください。



注意:

KGUARD Webクライアントでは、同時に最大3つのアクセスが可能です。ただし、アクセス毎に1つの管理者アカウントのみが許可されています。KGUARD.ORGにドメイン名を適用する場合は、34ページの「3.6 KGUARD DDNS」を参照してください。

4 ユーザーログイン。



クイックリファレンス

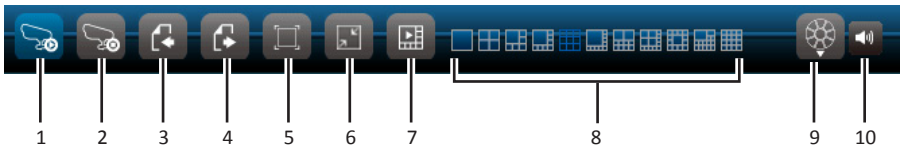
デフォルトのアクセス情報:

- ユーザー名:admin
- パスワード:123456
- クライアントポート9000 ([Main Menu(メインメニュー)] / [Network(ネットワーク)]の下で[Network Settings(ネットワーク設定)]メニューで設定したポートと同じポートである必要があります)
- [Quality(品質)]:リモートストリーム (推奨)
- [Language(言語)]:言語の選択

5 PC / Mac Webクライアントの使用。

番号	説明
1	**[Navigation(ナビゲーション)]タブ:** • **[Live(ライブ)]**:ライブ映像画面の表示、PTZ表示のコントロール、および録画と再生オプションの管理が可能になります。 • **[Playback(再生)]**:録画済みビデオの検索、再生、およびダウンロードが可能になります。 • **[Remote Setting(リモート設定)]**:リモートでDVRを構成することが可能です。 • **[Local Setting(ローカル設定)]**:録画済みビデオ、キャプチャーしたスクリーンショット、およびダウンロード済みビデオを保存するローカルディスクドライブの場所を指定することが可能です。 • **[Logout(ログアウト)]**:クリックしてKGUARD Webクライアントからログアウトします。
2	**[Channel Controls(チャンネルコントロール)]:**DVRに接続できるチャンネルをすべてリストします。
3	**[Display Screen(ディスプレイ画面)]:**グリッドモードまたはフルスクリーンモードでチャンネルを表示します。
4	**[Display Controls(ディスプレイコントロール)]:**画面モードの再生、録画、および切り替えをコントロールします。
5	**[PTZ Controls(PTZコントロール)]:**PTZスピードドームを管理します。

ディスプレイコントロール



番号	項目		説明
1	**全チャンネルを開く**		クリックすると、全チャンネルが開いて表示します。
2	**全チャンネルを閉じる**		クリックすると、全チャンネルが閉じます。
3	**前へ**		クリックすると前のチャンネルを表示します。
4	**次へ**		クリックすると変更を保存します。
5	**全画面**		クリックしてチャンネルを全画面表示にします。
6	**ストレッチ**		クリックすると画面が拡大します。もう一度クリックすると元の比率に戻ります。
7	**画面表示/非表示モード**		クリックして画面モードのアイコンを表示または非表示にします。
8	**画面モードアイコン**		画面モードアイコンをクリックすると、画面表示が切り替わります。
9	**PTZコントロール**		PTZコントロールアイコンはフルスクリーンモードのみで表示されます。クリックしてPTZコントロールをONまたはOFFにします。この機能は、PTZカメラの使用時のみ適用されます。
10	**音声**		音声をOFFまたはONにします。

3.4 Eメール通知

システムは、指定したチャンネル、日付、および時間に動作が検出された時またはHDDに障害が起きた時などのイベント発生時のメール通知送信をサポートしています。

Eメール通知設定を行うには、以下を行う必要があります：

1 DVRのネットワーク設定が正しく行われていること（「DVR上のネットワーク設定」の章を参照)。

2 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**NETWORK(ネットワーク)**] > [**Email(メール)**]をクリックします。

3 以下を設定します：

[**Enable(有効)**]を選択します。
Eメールスケジュールを実行するにはスケジュールをクリックします。

Eメールサーバーの設定：
[SSL]：[ON] /[OFF]を選択し、セキュアソケットレイヤプロトコルを有効/無効にします。
[SMTP Port(SMTPポート)]：Eメールサーバーに送信するSMTPポートを入力します。
[SMTP Server(SMTPサーバー)]：Eメールサーバーに送信するSMTPサーバーを入力します。
[Sender Email(送信者のメール)]：送信側Eメールサーバーのメールアドレスを入力します。
[Sender PWD(送信者パスワード)]：送信側Eメールサーバーのパスワードを入力します。

注意：
デフォルトでは、SSL証明なしのメールの場合、SMTPポートは25です。Gmailサーバーまたは SSL証明を必要とするメールの場合、SMTPポートは465がデフォルトです。正しい設定についてはISPにご確認ください。

DVRにアラーム通知を送信させるEメールアドレスを入力します。

DVRが新しい通知を送信する前に待機しなければならない期間を入力します。
例えば、3分間隔を選択した場合、DVRはモーション/アラーム検知を停止するまで、Eメール通知を3分ごとに送信します。モーション/アラームのトリガを検出したときのみ、DVRは通知を送信します。

[**Apply(適用)**]をクリックして設定を保存します。
すべてのメニューを終了するまで右クリックします。
再起動を促すメッセージが表示されます。

3.5 クラウドストレージ

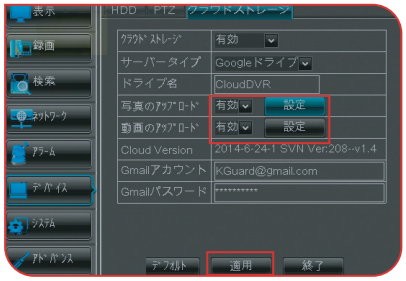
[Cloud Storage(クラウドストレージ)]メニューを使って、クライアントストレージアカウントを設定すると、DVRは自動的に画像をクラウドストレージにアップロードします。

写真/ビデオをGOOGLE DRIVEにアップロードします

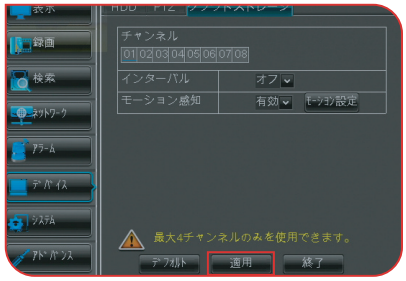
1. [**DEVICE(デバイス)**] > [**Cloud Storage(クラウドストレージ)**]に進みます。

2. [**Google Drive**]を有効にします。[Gmail Account(Gmailアカウント)]および[Gmail Password(Gmailパスワード)]を入力します。[**Apply(適用)**]をクリックします。

3. [**Upload Photo(写真のアップロード)**]を[Enable(有効化)]/[**Upload Video(ビデオのアップロード)**]を[Enable(有効化)]し、[**Apply(適用)**]をクリックします。

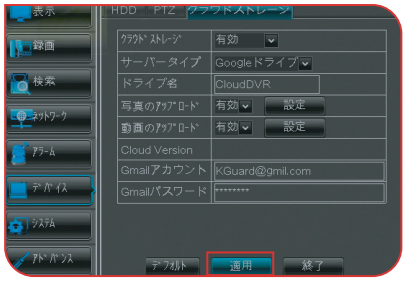


4-1. [***Upload Photo(写真のアップロード)***]を設定し、[**Apply(適用)**]をクリックします。



4-2. [***Upload Video(ビデオのアップロード)***]を設定し、[**Apply(適用)**]をクリックします。

5. [**Apply(適用)**]をクリックします。

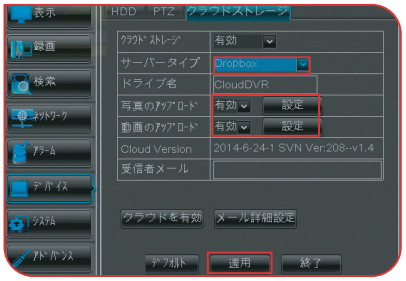


6. Google Driveの写真/ビデオを確認します。

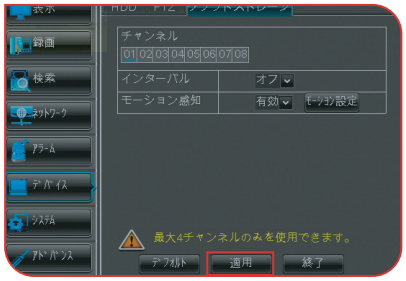
写真/ビデオをDROPBOXにアップロードします

1. [**DEVICE(デバイス)**] > [**Cloud Storage(クラウドストレージ)**]に進みます。

2. [**Dropbox**]を有効にします。[**Upload Photo(写真のアップロード)**]を[Enable(有効化)]/[**Upload Video(ビデオのアップロード)**]を[**Enable(有効化)**]し、[**Apply(適用)**]をクリックします。



3-1. [***Upload Photo(写真のアップロード)***]を設定し、[**Apply(適用)**]をクリックします。



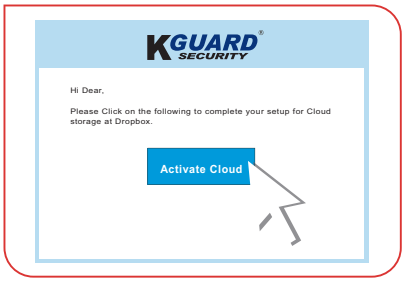
3-2. [***Upload Video(ビデオのアップロード)***]を設定し、[**Apply(適用)**]をクリックします。

4. Eメールアドレスを入力し、[**Apply（適用）**]をクリックします。

5. [**Activate Cloud（クラウドの有効化）**]をクリックします。

6-1. スマートフォン/タブレットを使って、スクリーン上のQRコードをスキャンします。

6-2. あるいは、3分以内にEメールを確認します。



7. Dropboxの写真/ビデオを確認します。

3.6 KGUARD DDNS

DVRが、IPアドレスがDHCPルータによって割り当てられるネットワークに接続されている場合、DVRを起動するたびIPアドレスが変更されます。これは、PCからDVRにリモートで接続する場合に問題となります。解決策として、DDNS (ダイナミックDNS) サービスを使用して、DVRへのリモート接続を簡素化するために静的アドレスを登録することができます。

DVRを使ってリモート接続を設定するには、以下が必要です:

1 HTTPおよびクライアントポート (デフォルト:80および9000) をルーター上でDVRのIPアドレスにポート転送します。

2 KGUARD.org サーバー (http://www.kguard.org) でDDNSアカウントを作成します。

3 DVR上でDDNSを有効にします。

4 WebブラウザでDDNSアドレスを入力して、リモート接続をテストします。

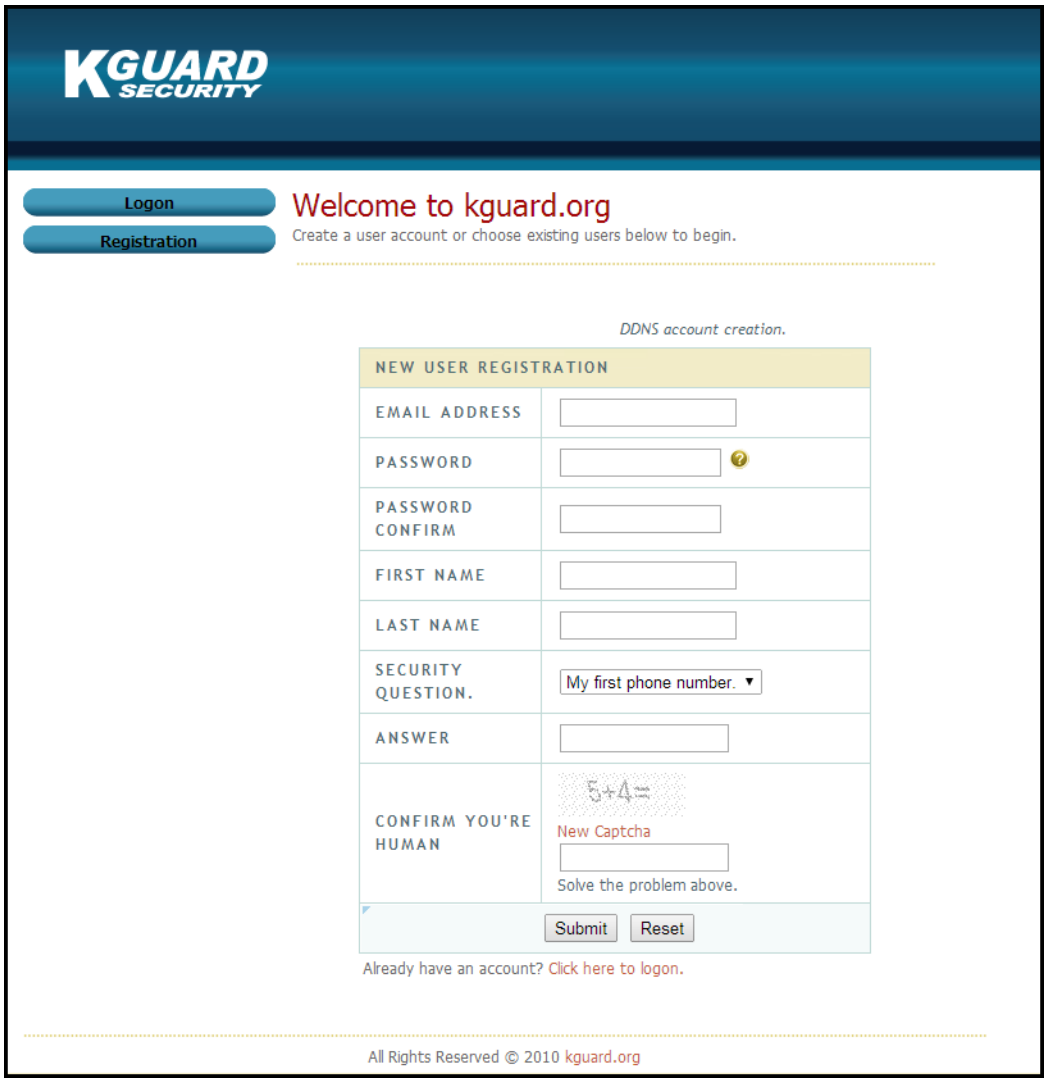
ステップ1/4:ポート転送

お使いのルーターメーカーの指示に従って、ルーター上で必要なポートをDVRのIPアドレスに手動でポート転送します。

ポート転送の詳細については、http://portforward.com/kguard/のリファレンスガイドを参照してください

ステップ2/4:DDNSアカウントの作成

DDNSアカウントを使って、ローカルネットワークを指すWebサイトアドレスを設定することができます。これにより、システムにリモート接続できるようになります。DVRと同じネットワーク内にDDNSアカウントを作成する必要があります。無料KGUARD DDNSアカウント:http://www.kguard.orgを設定するには:



ステップ3/4：DVR上でDDNSを有効にします。

1 [Main Menu(メインメニュー)] > [NETWORK(ネットワーク)] > [DDNS]を選択します。

2 以下を設定します。

[Enable(有効)]を選択します。

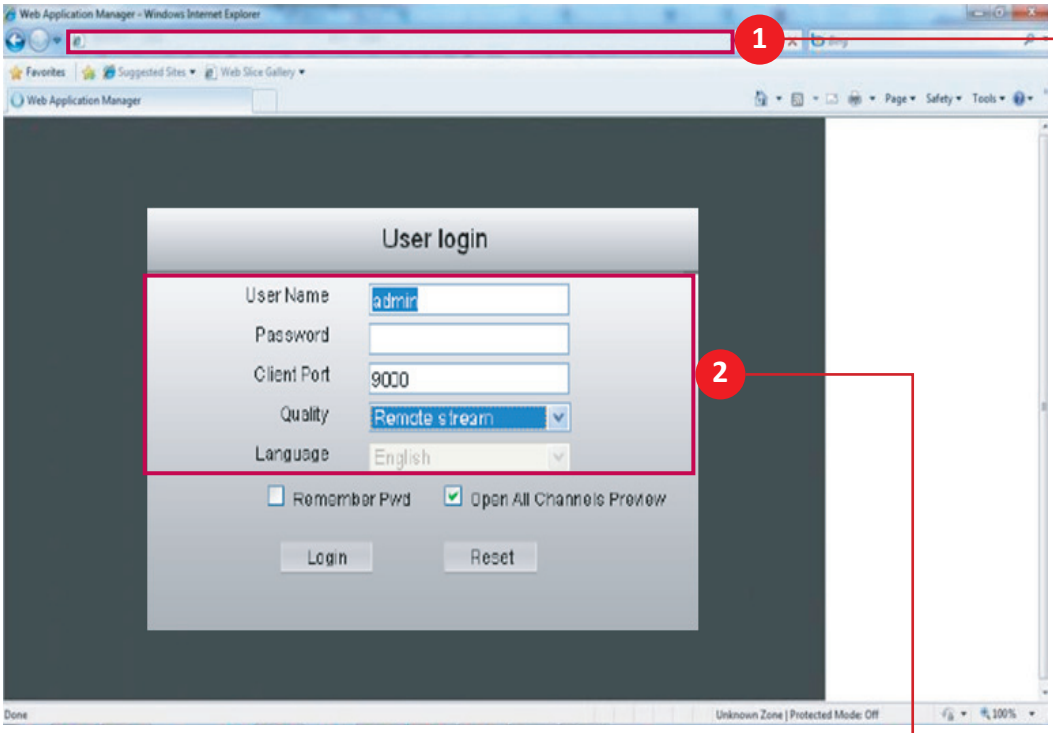
DDNSサーバーとして、KGUARD.ORGを選択します。

KGUARD DDNSサーバー (http://www.kguard.org) で登録した[domain name(ドメイン名)]を入力します。
登録したドメイン名が123ABC.KGUARD.ORGの場合、Kguard Web Clientをブラウズ する際IEまたはSafariに入力するIPアドレスは http://123ABC.KGUARD.ORGになります。

DDNSのユーザー名とパスワードを入力します。

3 [Apply(適用)]をクリックして設定を保存します。

ステップ4/4：WebブラウザでDDNSアドレスを入力して、リモート接続をテストします。



http://www.kguard.org で登録した[domain name(ドメイン名)]を入力します。

クイックリファレンス

デフォルトのアクセス情報：

- ユーザー名：admin
- パスワード：123456
- クライアントポート9000 ([Main Menu(メインメニュー)] / [Network(ネットワーク)]の下で[Network Settings(ネットワーク設定)]メニューで設定したポートと同じポートである必要があります)
- [Quality(品質)]：リモートストリーム (推奨)
- [Language(言語)]：言語の選択

付録

付録A: ハードディスクドライブ (HDD) のインストール

ご購入のパッケージによって、完全パッケージにハードディスクドライブが同梱されていることがあります。プリインストールされていない場合は、本書のインストールに関する指示に従ってください。

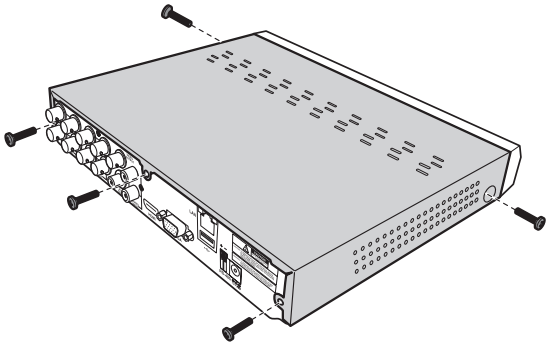
⚠ **デバイスの電源がONの間はHDDのインストールまたは取り外しをしないでください。**

DVRは、2.5インチまたは3.5インチSATA/ハードディスクドライブをサポートします。HDDをインストールするには、次のステップに従います。

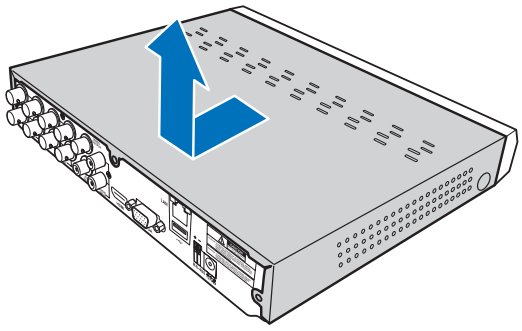
注意:

下図は8チャンネルDVRを示しています。同じ手順が4/16チャンネルDVRにも適用されます。

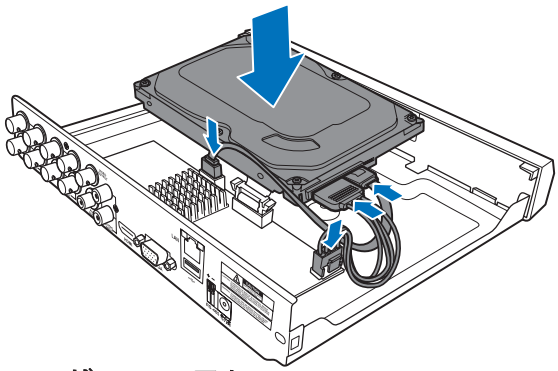
1 図に示すように、左、右、および背面のネジを緩めます。



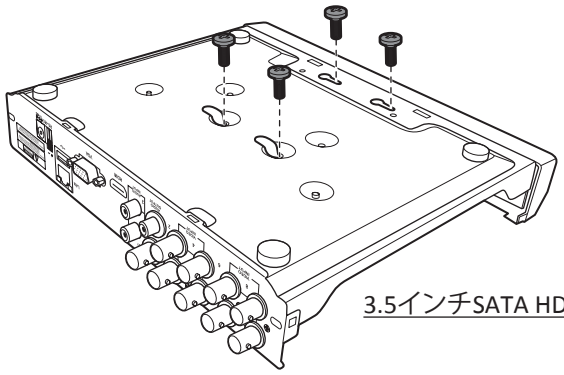
2 カバーを押し戻してから持ち上げて取り外します。



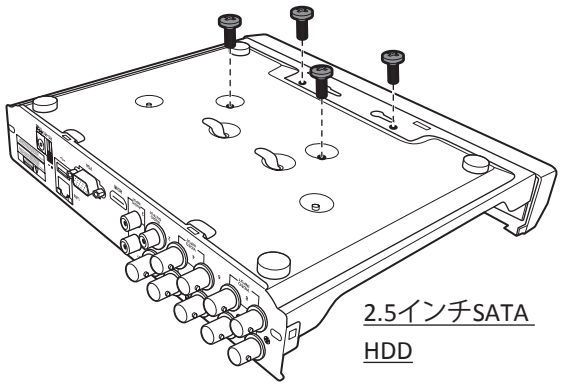
3 データケーブルと電源ケーブルをHDDに接続してから、HDDをDVRケースに配置します。



4 HDDをDVRケースの穴に揃え、付属の4本のねじで固定します。

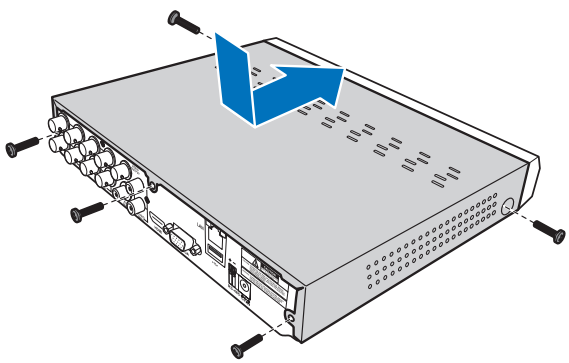


3.5インチSATA HDD



2.5インチSATA HDD

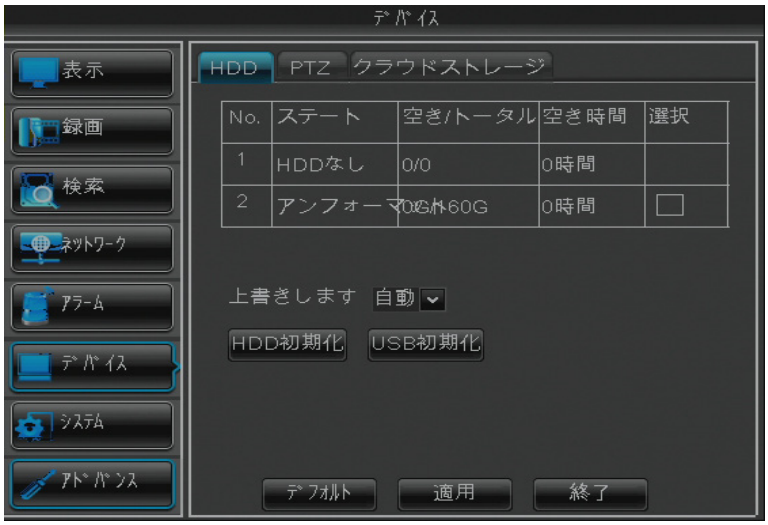
5 カバーを取り付けてから、ねじを所定の場所で締めます。



付録B: HDD管理

HDDの設定

1 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**DEVICE(デバイス)**] > [**HDD**]をクリックします。



2 設定するHDDを選択します。HDDが選択されたことを示す√アイコンがチェックボックスに表示されます。

3 [**Overwrite(上書きします)**]で、上書き間隔オプションを選択します。

- [**Auto(自動)**] (推奨):システムのHDDは、自動的にHDD最も古いコンテンツ上書きします(先入れ先出し)。
- [**1 Day(1日)**] / [**7 Days(7日)**] / [**30 Days(30日)**] / [**90 Days(90日)**]:ハードドライブがデータを保持すべき所望の期間を選択します。
- [**Close(閉じる)**]:ハードディスクドライブが一杯になった時、録画を停止します。

HDDのフォーマット

DVRに新しいHDDが正しくインストールされたら、システムがHDDを自動で検出し、ディスクのフォーマットを促します。

注意:HDDをフォマットすると、ハードディスク上の全データが消去されます。このステップは、元に戻すことはできません。

1 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**DEVICE(デバイス)**] > [**HDD**]をクリックします。

2 フォーマットするHDDを選択します。

3 [**Format HDD(HDD初期化)**]をクリックします。その後、[**OK**]をクリックして、続行します。

注意:
ドライブのフォーマットが進行中の時はHDDを取り外さないでください。

USBドライブのフォーマット

注意:USBフラッシュドライブをフォーマットすると、ドライブ上の全データが消去されます。このステップは、元に戻すことはできません。

USBディスクドライブをフォーマットするには以下を行います。

1 USBデバイスをDVRのUSBポートに接続します。

2 [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**DEVICE(デバイス)**] > [**HDD**]をクリックします。

3 [**Format USB(USB初期化)**]をクリックします。その後、[**OK**]をクリックして、続行します。

注意:
ドライブのフォーマットが進行中の時はUSBデバイスを取り外さないでください。

仕様

機種			EL422	EL822	EL1622
チャンネル数			4チャンネル	8チャンネル	16チャンネル
クラウド					
クラウドストレージ			あり		
保存モード			スケジュール / モーション検出		
ビデオ					
ビデオ初期化			NTSCまたはPAL		
ビデオ入力			BNC入力 x4	BNC入力 x8	BNC入力 x16
ビデオ出力			VGA出力 x1、BNC出力 x1、HDMI出力 x1		
ビデオ出力解像度			VGA:800x600、1024x768、1280x1024、1440x900、1920x1080 HDMI:1080p		
音声					
オーディオ入力			RCA入力 x2		RCA入力 x4
オーディオ出力			RCA出力 x1		
録画中					
ビデオ圧縮			H.264		
フレームレート	DI	NTSC	120fps@CIF (360×240), 120fps@HD1 (720x240), 120fps@D1 (720x480)	240fps@CIF (360×240), 240fps@HD1 (720x240), 240fps@D1 (720x480)	480fps@CIF (360×240), 240fps@HD1 (720x240), 240fps@D1 (720x480)
		PAL	100fps@CIF (360×288), 100fps@HD1 (720x288), 100fps@D1 (720x576)	200fps@CIF (360×288), 200fps@HD1 (720x288), 200fps@D1 (720x576)	400fps@CIF (360×288), 192fps@HD1 (720x288), 192fps@D1 (720x576)
	960H	NTSC	120fps@WCIF (480×240), 120fps@WHD1 (960×240), 120fps@WD1 (960×480)	240fps@WCIF (480×240), 88fps@ WHD1 (960×240), 88fps@WD1 (960×480)	480fps@WCIF (480×240), 176fps@WHD1 (960×240), 176fps@WD1 (960×480)
		PAL	100fps@WCIF (480×288), 100fps@WHD1 (960×288), 100fps@WD1 (960×576)	200fps@WCIF (480×288), 72fps@ WHD1 (960×288), 72fps@WD1 (960×576)	400fps@WCIF (480×288), 144fps@WHD1 (960×288), 144fps@WD1 (960×576)
録画モード:			常時 / 手動 / モーション検出 / スケジュール		常時 / 手動 / モーション検出 / スケジュール / センサー / アラーム
HDDインターフェイス			1 SATA		
HDDサポート			最大4TB		
ネットワーク					
ネットワークインターフェイス			RJ45、10M / 100M		
ネットワーク機能			DHCP、PPPoE、固定IP		
再生					
ローカル再生			最大4チャンネル(同時)	最大8チャンネル(同時)	最大16チャンネル(同時)

機種	EL422	EL822	EL1622
再生検索	日付と時間 / イベントリスト / 時間バー		
再生モード	再生、早送り、巻き戻し、スローモーション、ズーム		
全般			
PTZコントロール	RS485を内蔵。PELCO-PおよびPELCO-Dに対応		
センサーおよびアラーム入出力ポート	無		あり
IRエクステンダーポート	無		あり
バックアップ方法	HDD、USB、ネットワーク		
電源	12V/2A		12V/2A
動作温度 (HDDなし)	-10˚C ～ 50˚C (14˚F ～ 122˚F)		
保存温度	-20˚C ～ 70˚C (-4˚F ～ 158˚F)		
動作湿度	10% ~ 90%		
寸法 (W x D x H)	250 x 230 x 45 mm		300 x 220 x 50 mm

* 仕様は予告なく変更されることがあります。

トラブルシューティングおよびFAQ

トラブルシューティング

DVRを使用する際になんらかの問題を体験した場合は、サービスに問い合わせる前に以下の共通問題に対する解決法を試みてください。問題が持続する場合は、お近くのカスタマーサービスにお問い合わせください。

問題	あり得る解決法
DVRの電源がONにならず、インジケーターが点灯していない。	• 電源アダプターが正しく接続されていることをご確認ください。 • 電源コードを別のコンセントに接続します。現在のコンセントが損傷している恐れがあります。 • 電源コードが損傷している恐れがあります。販売店にお問い合わせの上、新しいものをご購入ください。
一部のチャンネルにビデオ信号がありません。	• カメラが正しく接続されているかをご確認ください。 • カメラに電力が供給されているかをご確認ください。 • お客様の国で使用されている正しいビデオ形式を設定してください(NTSC/PAL)。 • カメラケーブルが損傷している恐れがあります。新しいものと交換してください。
画面に「H」が表示され、DVRがHDDを検出できません。	• HDDデータと電源ケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。 • 新しいHDDの場合は、先にHDDをフォーマットしてください。37ページの「付録B: HDD管理」をご参照ください。 • 上記すべての手順を行ってもうまくいかない場合は、カスタマーサービスに問い合わせてさらにサポートを受けてください。
管理者パスワードを変更しましたが思い出せません。	• 工場出荷時の既定パスワードを取得するには、小売業者へ問い合わせるか、または直接KGUARDsupport@kguardsecurity.comにメールを送信してください。
リモコンが動作しませんが、全面パネルのボタンは動作しています。	• リモコンとDVRセンサーを遮るものが何もないことをご確認ください。リモコンを適切な距離をあけて向けてください。 • リモコンの電池をご確認ください。
PTZカメラを制御できません。	• カメラのプロトコル、ボーレート、アドレスコード、およびその他の設定が、DVRで設定した設定と符合しているかご確認ください。 • ケーブルが正しく接続されているかをご確認ください。
ブザーが鳴り続けています。	• アラーム設定をご確認ください。モーション検出が検出されている場合があります。HDD容量とビデオ接続をご確認ください。これらがアラームの契機となっている可能性があります。 • DVR設定でブザーを無効にします。
PTZコントロールメニューが見つかりません。	• DVRがクルーズモードである場合があります。先にクルーズモードを無効にして停止してください。
DVRに外部ストレージデバイスを接続しましたが認識されません。	• 外部ストレージデバイスは、DVRと互換性がない場合があります。他のストレージデバイスの接続を試みてください。付属のCDにあるサポートマニュアルをご参照ください。

問題	あり得る解決法
Webクライアントにアクセスできません。	• ネットワークケーブルがDVRに正しく接続されているかをご確認ください。 • ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。23ページの「3.1 DVRのネットワーク設定」をご参照ください。 • Internet Explorer 6以上があることをご確認ください。
携帯電話からDVRにアクセスできません。	• ネットワークケーブルがDVRに正しく接続されているかをご確認ください。 • ネットワーク設定が正しく接続されているかをご確認ください。23ページの「3.1 DVRのネットワーク設定」をご参照ください。 • モバイルデバイスのユーティリティがお使いの携帯電話にインストールされていることをご確認ください。

よくある質問

FAQ	回答
DVRのQRコードを確認するには	• [**Main Menu(メインメニュー)**] > [**SYSTEM(システム)**]に進み、[**Info(情報)**]タブを選択します。QRコードが**DVRID**に表示されます。
画面メニューに表示される「H」は何を意味していますか?	• これはHDDが検出できないか、または不正にフォーマットされていることを意味します。
DVRを触ると熱いです。これにより何か問題が起こりますか?	• パフォーマンスと信頼性を持続するため、必ずユニット周辺の換気を適切にするとともに、DVRを直射日光または熱源から離してください。
HDDは標準のPCのハードドライブでアップグレードできますか?	• はい。SATA接続の3.5インチHDDが使用できます。ただし、信頼性を持続するため、CCTVまたはAVハードドライブをお勧めします。
以前録画したファイルを同時に録画し再生することは可能ですか?	• はい。再生メニューに移動することで、録画の継続中に既存の録画を再生することができます。
ユニットから個々の録画を削除することは可能ですか?	• いいえ。同時にすべての録画の削除のみが行えます。録画を削除したい場合は、HDDをフォーマットする必要があります。 ⚠**警告:** HDDをフォーマットすると既存の録画がすべて消去されます。これを行う前に必ずファイルをバックアップしてください。
MacまたはLinuxでシステムを表示することは可能ですか?	• はい。システムは、携帯電話またはSafariやWindows®のInternet Explorerで使用可能です。

Copyright © 2014
All rights reserved

カスタマーサポート

KGUARD INFORMATION CO., LTD.
所在地:4F, No.113, Jian 2nd Road,
Jhonghe District, New Taipei City 23585, Taiwan
TEL:+886-2-8228-6080
FAX:+886-2-8221-6857
Eメール:support@kguardsecurity.com

米国技術サポート問い合わせ先
TEL:1-949-450-0052
Eメール:support@kworldcomputer.com